

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		愛媛県		市町村類型	Ⅲ－２		指定団体等の指定状況		区分	令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分	令和5年度(千円・%)	令和4年度(千円・%)			
							財政健全化等	×	歳入総額	56,136,821	53,409,897	実質収支比率	3.3	3.8			
市町村名		新居浜市		地方交付税種地	1-4		財源超過	×	歳出総額	55,104,771	52,168,573	経常収支比率	85.2	80.6			
							首都	×	歳入歳出差引	1,032,050	1,241,324	(※1)	(85.9)	(82.3)			
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	89,982	170,654	標準財政規模	28,392,345	27,874,939			
									実質収支	942,068	1,070,670	財政力指数	0.76	0.76			
人口		令和2年国調(人)	115,938 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>-128,602</td> <td>86,752</td> <th>公債費負担比率</th> <td>12.6</td> <td>13.0</td>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-128,602	86,752	公債費負担比率	12.6	13.0			
		平成27年国調(人)	119,903 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>620,056</td> <td>100,905</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	620,056	100,905	健全化判断比率					
		増減率 (％)	-3.3 <th>山振</th> <th>○</th> <th>繰上償還金</th> <td>0</td> <td>0</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口 (※7)		令06.01.01(人)	114,070 <th rowspan="2">区分</th> <th>令和2年国調</th> <th>平成27年国調</th> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>400,000</td> <td>460,000</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	400,000	460,000	連結実質赤字比率	-	-			
		うち日本人(人)	112,469 <th rowspan="2">第1次</th> <td>650</td> <td>720<th>指数表選定</th><th>○</th><th>実質単年度収支</th><td>91,454</td><td>-272,343</td><th>実質公債費比率</th><td>2.7</td><td>2.2</td></td>		第1次	650	720 <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>91,454</td> <td>-272,343</td> <th>実質公債費比率</th> <td>2.7</td> <td>2.2</td>	指数表選定	○	実質単年度収支	91,454	-272,343	実質公債費比率	2.7	2.2		
		令05.01.01(人)	115,314 <th></th> <td>1.3</td> <td>1.4<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>-</td><td>4.4</td></td>			1.3	1.4 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>-</td> <td>4.4</td>						将来負担比率	-	4.4		
		うち日本人(人)	113,972 <th rowspan="2">第2次</th> <td>17,030</td> <td>16,960<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td><th rowspan="4">資金不足比率 (※4)</th><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></td>	第2次	17,030	16,960 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th rowspan="4">資金不足比率 (※4)</th> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td>						資金不足比率 (※4)					
		増減率 (％)	-1.1 <th></th> <td>33.1</td> <td>32.7<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td></td>			33.1	32.7 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td>										
		うち日本人(%)	-1.3 <th rowspan="2">第3次</th> <td>33,827</td> <td>34,206<th></th><th></th><th></th><td></td><td></td></td>	第3次	33,827	34,206 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td>											
			65.7		65.9 <th></th> <th></th> <th></th> <td></td> <td></td>												
面積 (km ²)		234.47							基準財政収入額	18,008,247	17,053,415						
人口密度 (人/km ²)		494							基準財政需要額	23,165,281	22,587,137						
世帯数 (世帯)		51,310							標準税収入額等	22,998,863	21,780,564						
									経常経費充当一般財源等	24,549,391	23,000,824						
									歳入一般財源等	35,783,808	34,507,396						
職員の状況 (※8)																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		52,084,381	51,742,544					
	市区町村長	1	9,560 <th>一般職員</th> <td>783</td> <td>2,471,148</td> <td>3,156<th colspan="2">うち公的資金</th><td>34,225,486</td><td>36,123,083</td><th colspan="2"></th></td>		一般職員	783	2,471,148	3,156 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>34,225,486</td> <td>36,123,083</td> <th colspan="2"></th>	うち公的資金		34,225,486	36,123,083					
	副市区町村長	2	7,315 <th>うち消防職員</th> <td>148</td> <td>453,472</td> <td>3,064<th colspan="2">地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th><td>31,697,000</td><td>29,704,374</td><th colspan="2"></th></td>		うち消防職員	148	453,472	3,064 <th colspan="2">地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th> <td>31,697,000</td> <td>29,704,374</td> <th colspan="2"></th>	地方債現在高(臨時財政対策債除き)		31,697,000	29,704,374					
	教育長	1	6,580 <th>うち技能労務職員</th> <td>15</td> <td>45,360</td> <td>3,024<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>7,616,829</td><td>5,794,222</td><th colspan="2"></th></td>		うち技能労務職員	15	45,360	3,024 <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>7,616,829</td> <td>5,794,222</td> <th colspan="2"></th>	債務負担行為額(支出予定額)		7,616,829	5,794,222					
	議会議長	1	5,720 <th>教育公務員</th> <td>10</td> <td>39,070</td> <td>3,907<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td><th colspan="2"></th></td>		教育公務員	10	39,070	3,907 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2"></th>	収益事業収入		-	-					
	議会副議長	1	5,180 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>-</td><td>-</td><th colspan="2"></th></td>		臨時職員	-	-	- <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2"></th>	土地開発基金現在高		-	-					
	議会議員	24	4,820 <th>合計</th> <td>793</td> <td>2,510,218</td> <td>3,165<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>1,607,779</td><td>1,386,518</td><th colspan="2"></th></td>		合計	793	2,510,218	3,165 <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>1,607,779</td> <td>1,386,518</td> <th colspan="2"></th>	積立金現在高	財政調整基金	1,607,779	1,386,518					
										減債基金	942,457	1,144,247					
											その他特定目的基金	4,651,870	5,002,814				
一般会計等の一覧		事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)			
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(6)	水道事業会計	(9)	渡海船事業特別会計	(10)	愛媛県地方税滞納整理機構	(13)	マイントピア別子						
(2)	平尾墓園事業特別会計	(4)	介護保険事業特別会計	(7)	工業用水道事業会計					(11)	愛媛県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	(14)	新居浜市都市開発公社				
		(5)	後期高齢者医療事業特別会計	(8)	公共下水道事業会計					(12)	愛媛県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(15)	新居浜市文化体育振興事業団				
												(16)	別子木材センター				
												(17)	えひめ東予産業創造センター				

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	20,582,488	36.7	19,347,371	67.7	普通税	19,346,854	94.0	413,292	
地方譲与税	348,821	0.6	348,821	1.2	法定普通税	19,346,854	94.0	413,292	
利子割交付金	8,919	0.0	8,919	0.0	市町村民税	7,876,052	38.3	413,292	
配当割交付金	93,014	0.2	93,014	0.3	個人均等割	201,647	1.0	-	
株式等譲渡所得割交付金	112,372	0.2	112,372	0.4	所得割	5,871,623	28.5	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	356,985	1.7	-	
地方消費税交付金	2,886,632	5.1	2,886,632	10.1	法人税割	1,445,797	7.0	413,292	
ゴルフ場利用税交付金	31,379	0.1	31,379	0.1	固定資産税	10,146,712	49.3	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	10,135,818	49.2	-	
自動車取得税交付金	3,502	0.0	3,502	0.0	軽自動車税	449,664	2.2	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	874,426	4.2	-	
自動車税環境性能割交付金	30,123	0.1	30,123	0.1	鉦産税	-	-	-	
法人事業税交付金	306,222	0.5	306,222	1.1	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	235,562	0.4	235,562	0.8	法定外普通税	-	-	-	
地方特例交付金	113,245	0.2	113,245	0.4	目的税	1,235,634	6.0	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	122,317	0.2	122,317	0.4	法定目的税	1,235,634	6.0	-	
地方交付税	5,896,720	10.5	5,157,034	18.0	入湯税	517	0.0	-	
普通交付税	5,157,034	9.2	5,157,034	18.0	事業所税	-	-	-	
特別交付税	739,686	1.3	-	-	都市計画税	1,235,117	6.0	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-	
（一般財源計）	30,535,754	54.4	28,560,951	99.9	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	10,515	0.0	10,515	0.0	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	255,077	0.5	-	-	合計	20,582,488	100.0	413,292	
使用料	515,051	0.9	200	0.0					
手数料	262,938	0.5	14,763	0.1					
国庫支出金	11,147,650	19.9	-	-					
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-					
都道府県支出金	3,741,572	6.7	-	-					
財産収入	92,227	0.2	5,450	0.0					
寄附金	551,226	1.0	-	-					
繰入金	1,250,004	2.2	-	-					
繰越金	1,241,324	2.2	-	-					
諸収入	1,683,935	3.0	103	0.0					
地方債	4,849,548	8.6	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	236,448	0.4	-	-					
歳入合計	56,136,821	100.0	28,591,982	100.0					

区分		令和5年度		令和4年度	
徴収率 （％） 現・計 年	合計	99.6	99.1	99.6	99.0
	市町村民税	99.7	99.4	99.7	99.3
	純固定資産税	99.6	98.9	99.6	98.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	7,559,368	実質収支	-
下水道	1,861,841	再差引収支	-401,836
港湾整備	189,410	加入世帯数（世帯）	13,456
交通	40,498	被保険者数（人）	19,046
上水道	6,094	被保険者 1人当り	保険税（料）収入額 92
国民健康保険	1,258,043		国庫支出金 -
その他	4,203,482		保険給付費 444

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	351,945	0.6	-	351,945	
総務費	5,756,511	10.4	496,359	4,862,443	
民生費	23,149,169	42.0	684,720	12,079,641	
衛生費	3,318,408	6.0	613,969	2,246,287	
労働費	344,595	0.6	-	39,133	
農林水産業費	929,051	1.7	571,688	510,856	
商工費	2,160,964	3.9	311,856	1,238,824	
土木費	5,567,015	10.1	2,458,564	3,307,325	
消防費	1,538,296	2.8	52,154	1,414,677	
教育費	7,210,999	13.1	3,441,172	4,138,461	
災害復旧費	35,319	0.1	-	2,385	
公債費	4,702,001	8.5	-	4,519,283	
諸支出金	40,498	0.1	-	40,498	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	55,104,771	100.0	8,630,482	34,751,758	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	27,230,286	49.4	17,360,734	14,371,456	49.9
人件費	7,912,741	14.4	7,260,169	6,882,136	23.9
うち職員給	4,954,437	9.0	4,536,641	-	-
扶助費	14,616,067	26.5	5,581,805	2,970,560	10.3
公債費	4,701,478	8.5	4,518,760	4,518,760	15.7
元利償還金	4,701,478	8.5	4,518,760	4,518,760	15.7
うち元金	4,507,711	8.2	4,342,208	4,342,208	15.1
うち利子	193,767	0.4	176,552	176,552	0.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	19,208,684	34.9	15,516,729	10,177,935	35.3
物件費	7,290,527	13.2	5,851,095	3,683,183	12.8
維持補修費	293,325	0.5	245,655	245,655	0.9
補助費等	4,062,670	7.4	3,712,577	1,835,045	6.4
うち一部事務組合負担金	13,948	0.0	13,948	7,948	0.0
繰出金	5,691,433	10.3	4,674,738	4,164,052	14.4
積立金	781,367	1.4	766,302	-	-
投資・出資金・貸付金	1,089,362	2.0	266,362	250,000	0.9
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	8,665,801	15.7	1,874,295	-	-
うち人件費	230,875	0.4	230,875	-	-
普通建設事業費	8,630,482	15.7	1,871,910	-	-
うち補助	3,589,638	6.5	310,791	-	-
うち単独	4,946,241	9.0	1,543,116	-	-
災害復旧事業費	35,319	0.1	2,385	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	55,104,771	100.0	34,751,758	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和5年度

愛媛県新居浜市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	56,136	55,104	1,032	942	1,110	52,689	
2	平尾墓園事業特別会計	29	29	-	-	3	13	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	56,164	55,132	1,032	942		52,702	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険事業特別会計	11,738	11,738	-	-	1,263	-	-		
2	介護保険事業特別会計	13,647	13,431	216	216	2,069	-	-		
3	後期高齢者医療事業特別会計	2,058	1,965	93	93	561	-	-		
4	水道事業会計	2,161	1,564	597	2,380	6	5,342	-	-	法適用企業
5	工業用水道事業会計	214	188	26	829	-	330	-	-	法適用企業
6	公共下水道事業会計	4,022	3,824	198	1,113	1,460	32,151	17,201	-	法適用企業
7	渡海船事業特別会計	173	173	-	-	40	-	-	-	法非適用企業
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				4,631		37,823	17,207		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	愛媛県地方税滞納整理機構	152	97	55	55	-	-	-	
2	愛媛県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	230,159	223,900	6,259	6,259	-	-	-	
3	愛媛県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	88	69	19	19	-	-	-	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				4,253		-	-	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	マイントピア別子	▲ 25	141	87	-	-	-	-	-	
2	新居浜市都市開発公社	0	60	10	-	-	472	-	-	
3	新居浜市文化体育振興事業団	▲ 2	85	50	-	-	-	-	-	
4	別子木材センター	161	61	35	-	-	-	-	-	
5	えひめ東予産業創造センター	0	912	376	-	-	-	-	-	
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			558	-	-	472	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
元利償還金		4,553,254	4,759,835	4,772,717	19.6
減債基金積立不足算定額		—	—	—	—
準元利償還金	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	—	—	—	—
	公営企業債の元利償還金□に対する繰入金	1,328,870	1,226,074	1,209,207	5.0
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	—	—	—	—
	債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	3,529	2,137	1,329	0.0
	一時借入金の利子	—	—	—	—
合計		(A) 5,885,653	5,988,046	5,983,253	
内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
債務負担行為	PFI事業に係るもの	—	—	—	—
	いわゆる五省協定等に係るもの	—	—	—	—
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	—	—	—	—
	地方公務員等共済組合に係るもの	—	—	—	—
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	—	—	—	—
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	—	—	—	—
	引き受けた債務の履行に係るもの	—	—	—	—
	その他上記に準ずるもの	3,529	2,137	1,329	0.0
	利子補給に係るもの	—	—	—	—
特定財産の額	(B) 1,242,516	1,184,906	1,240,618		
標準財政規模	(C) 28,526,491	27,874,939	28,392,345		
算入公債費等の額	(D) 4,128,873	4,082,103	4,018,088		
	(C)－(D)	24,397,618	23,792,836	24,374,257	
実質公債費比率（単年度）		2.1	3.0	3.0	
((A)－(B)÷(D))／((C)－(D))×100 （3年平均）		1.6	2.2	2.7	

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和5年度

愛媛県新居浜市

人	114,070	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	112,469	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	234.47	km ²	実質公債費比率	2.7	%
歳入総額	56,136,821	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	55,104,771	千円	市町村類型	R01Ⅲ-2R02Ⅲ-2R03Ⅲ-2	
実質収支	942,068	千円	(年度毎)	R04Ⅲ-2R05Ⅲ-2	
標準財政規模	28,392,345	千円			
地方債現在高	52,084,381	千円			

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準（国との比較）」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

財政力指数 [0.76]

類似団体内順位 12/29

全国平均 0.48

愛媛県平均 0.42

財政力指数の分析欄

昨年度と同じ0.76であったが、類似団体内平均値が低下してきていることから、平均値を0.01ポイント上回ることとなった。当市の一般財源としては、住友企業群の法人税収入並びに企業の新たな設備投資により発生する償却資産税収入により、安定的な財政運営を行うことができるが、ともに景気に左右されやすいことから、新たな公共施設の建設や既存施設の改修の際には、国・県からの支援の他、交付税算入率の高い起債を活用するため、十分な情報収集等を行い、健全財政の維持に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [-%]

類似団体内順位 1/29

全国平均 6.3

愛媛県平均 6.7

将来負担比率の分析欄

市税等が増加したことに伴う標準税収入額等の増加や、都市計画税収等充当可能特定歳入の増加により、将来負担比率が低下した。今後も将来負担を軽減するためにも、普通建設事業において地方債に依存しすぎず、その他の特定財源を最大限活用することで将来負担比率の抑制を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [2.7%]

類似団体内順位 7/29

全国平均 5.6

愛媛県平均 7.7

実質公債費比率の分析欄

昨年度と比較して0.5ポイント上昇したものの、依然類似団体平均を下回っている。上昇した要因としては、令和4年度から小中学校空調整備事業等の元金償還開始等によるものであり、3年平均では0.5ポイント上昇しているが、単年度で比べると0.1ポイント低下となりほぼ横ばいである。今後も西部学校給食センター建設事業の起債の元金償還開始等により、上昇することが見込まれる。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [85.2%]

類似団体内順位 3/29

全国平均 93.1

愛媛県平均 90.4

経常収支比率の分析欄

昨年度と比較して4.6ポイント上昇した。増加の要因としては、繰出金の経常収支比率が上がったためである。繰出金の経常収支比率が上がった理由としては後期高齢者医療事業特別会計や介護保険事業特別会計に対する法定繰出を臨時経費とみていたことによるものである。今後は令和5年度並みの水準で推移する見通しである。

定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [6.95人]

類似団体内順位 15/29

全国平均 8.32

愛媛県平均 8.18

人口1,000人当たり職員数の分析欄

昨年度と比較して0.03人増加した。類似団体の平均値をわずかに上回るが、ほぼ平均値で推移している。全国平均、愛媛県平均との比較では共に下回っている。今後も定員管理の適正な推進や管理経費の圧縮に努め、現水準の維持を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [134,735円]

類似団体内順位 13/29

全国平均 158,103

愛媛県平均 151,865

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

昨年度と比較して7,004円減少し、類似団体平均を下回った。減少理由としては人員配置の見直し等による人件費の減少や新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種費等の減少による物件費の減少によるものである。今後、公共施設の老朽化に加え、物価上昇や賃上げ等の影響により、物件費や維持補修費が上昇していく可能性があるため、公共施設の総量の圧縮等を通じて、物件費や維持補修費の抑制を図っていく。

給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数 [98.9]

類似団体内順位 12/29

全国市平均 98.6

全国町村平均 96.3

ラスパイレス指数の分析欄

昨年度から0.2低くなり、類似団体平均をやや下回ったが、全国市平均を上回っているため、民間給与水準や他自治体等の動向にも注視しながら、引続き市民の理解を得られる給与水準となるよう努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

愛媛県新居浜市

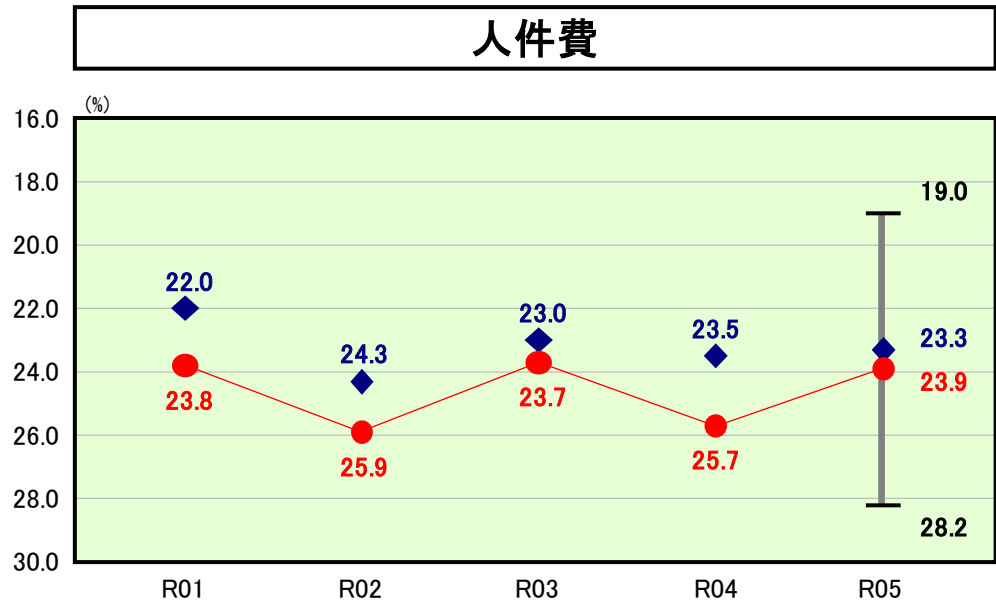
経常収支比率の分析

人	口	114,070	人(R6.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%										
う	ち	日	本	人	口	(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%					
面	積	234.47	k㎡	実	質	公	債	費	比	率	2.7	%									
歳	入	総	額	56,136,821	千円	将	来	負	担	比	率	-	%								
歳	出	総	額	55,104,771	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅲ-2	R02	Ⅲ-2	R03	Ⅲ-2					
実	質	収	支	942,068	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅲ-2	R05	Ⅲ-2							
標	準	財	政	規	模	28,392,345	千円														
地	方	債	現	在	高	52,084,381	千円														

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

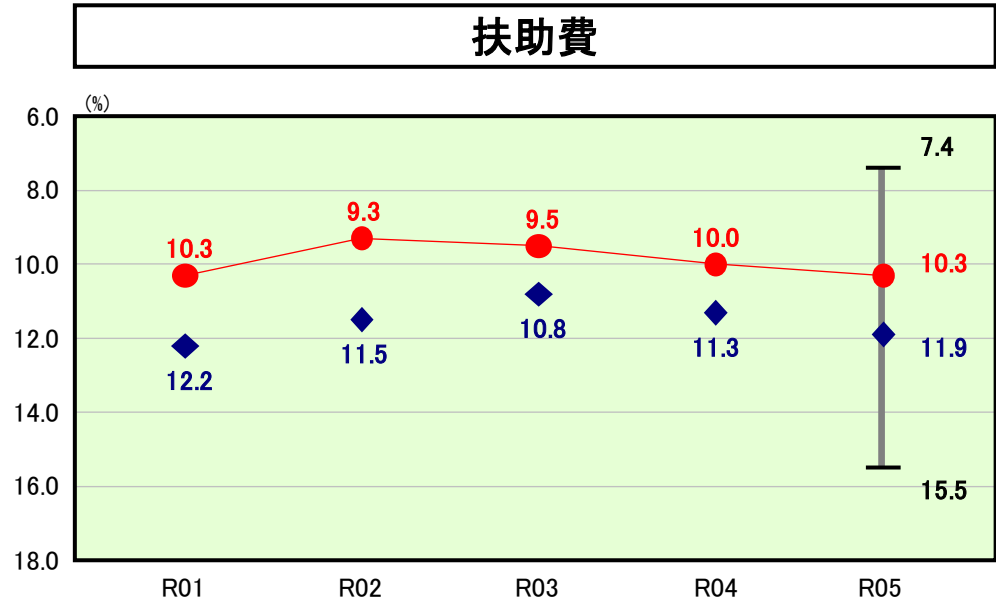


類似団体内順位 17/29 全国平均 25.5 愛媛県平均 24.4

人件費の分析欄

昨年度と比較して1.8ポイント低下した。低下した理由としては適正な人員配置の見直しに伴う人員減や退職手当の減少等により、人件費の経常一般財源充当額として約6.3%減少となっているためである。

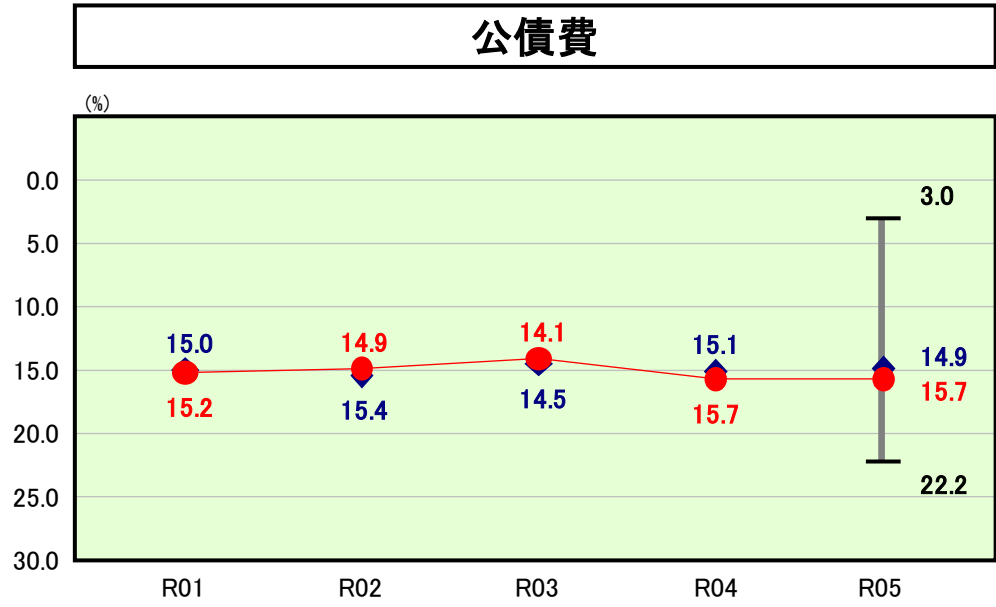
例年、類似団体平均を上回っていることから、今後も業務の効率化を図り、適正な定員管理に努める。



類似団体内順位 5/29 全国平均 13.2 愛媛県平均 11.6

扶助費の分析欄

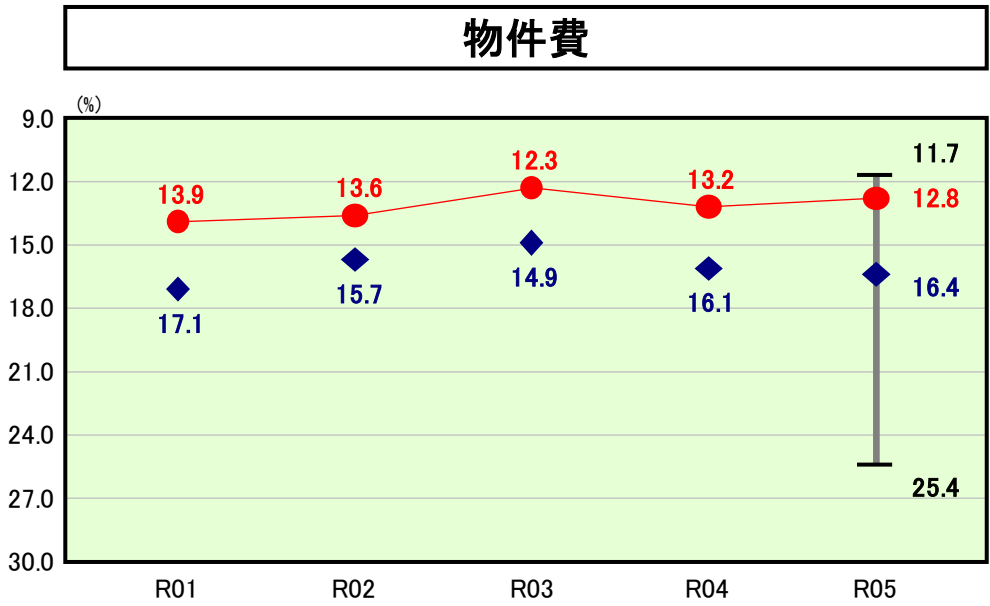
昨年度と比較して0.3ポイント上昇した。小学生から高校生までを対象とした子ども医療費助成の経費等の増加に伴い上昇している。割合としては類似団体平均、全国平均、愛媛県平均の全てにおいて下回っている。



類似団体内順位 17/29 全国平均 15.9 愛媛県平均 17.8

公債費の分析欄

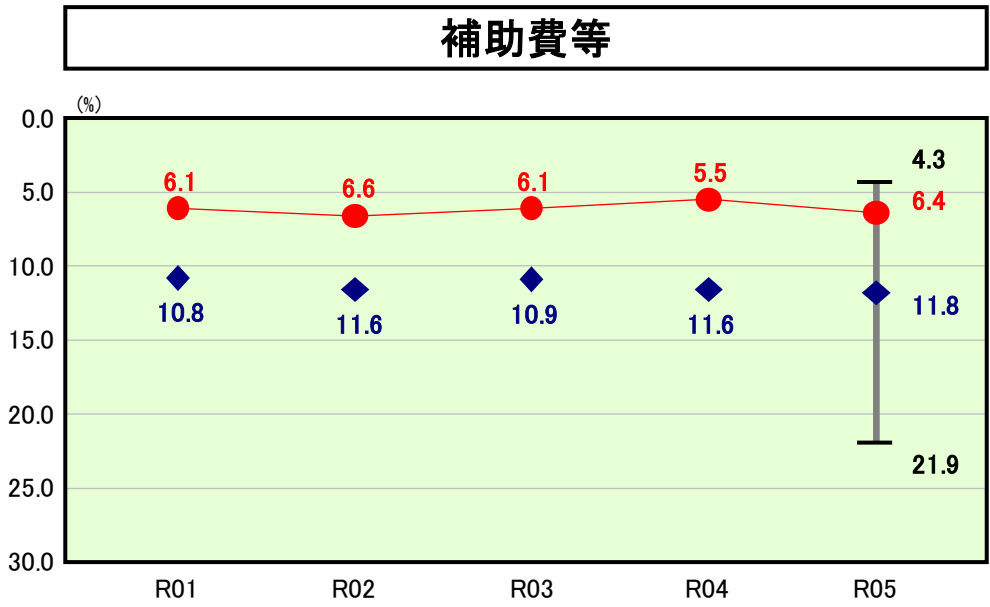
昨年度と同じ15.7%であった。類似団体平均を上回っているが、全国平均、愛媛県平均は下回っている。令和6年度に完成する西部学校給食センターの建設に伴う公債費の償還も今後開始するため、緊急度や住民ニーズ等による事業の選択を行うことで、公債費に対する負担割合が著しく増加しないよう、計画的な事業の実施及び借入を行う。



類似団体内順位 3/29 全国平均 15.2 愛媛県平均 14.2

物件費の分析欄

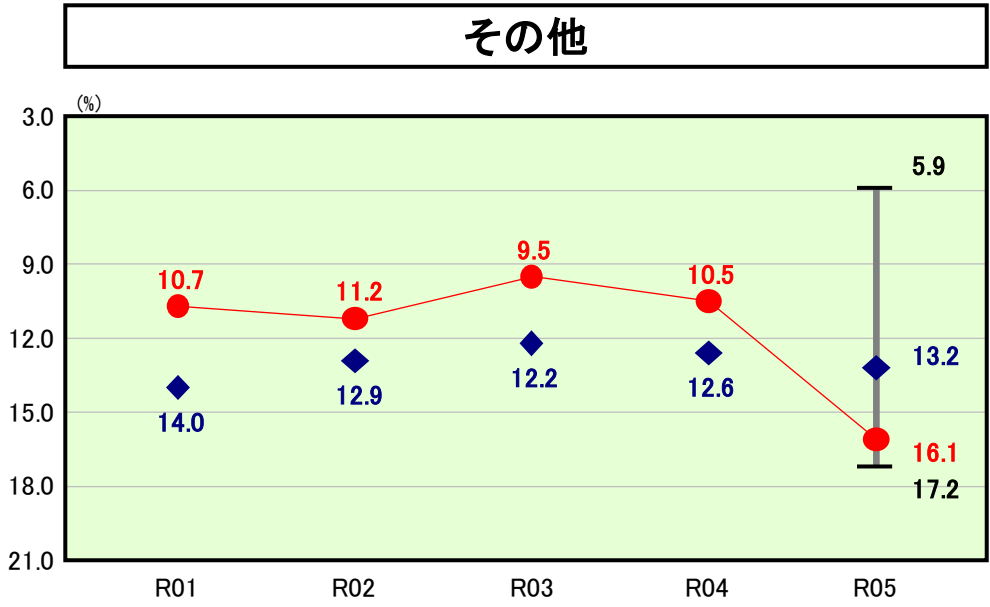
類似団体平均、全国平均、愛媛県平均全てを下回っている。令和4年度衛生センター閉鎖に伴う委託料の減等により、昨年度と比較して、0.4ポイント低下した。今後も公共施設の再編を通じた維持管理経費の圧縮による、経常経費の削減に努める。



類似団体内順位 3/29 全国平均 10.7 愛媛県平均 8.8

補助費等の分析欄

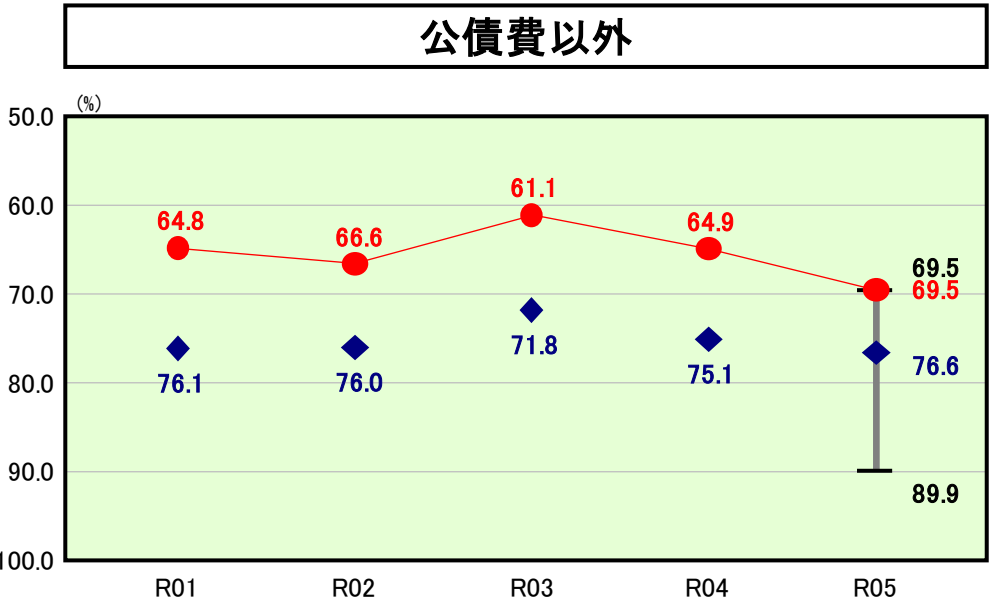
昨年度と比較して0.9ポイント上昇している。機構改革に伴う下水等整備負担金等の増加によるものである。昨年度より増加はしているものの、前年度と同様に類似団体平均、全国平均、愛媛県平均を大幅に下回っている。



類似団体内順位 28/29 全国平均 12.6 愛媛県平均 13.6

その他の分析欄

昨年度と比較して5.6ポイント上昇した。経常収支比率が上がった理由としては後期高齢者医療事業特別会計や介護保険事業特別会計に対しての法定繰出を臨時経費としてみていたことによるものである。後期高齢者医療事業特別会計の給付費等による繰出金などが多いことから、類似団体等より数値が高いため、後期高齢者医療事業など特別会計の事務経費等の見直しを行うなどにより、普通会計の負担を減らすよう努める。



類似団体内順位 1/29 全国平均 77.2 愛媛県平均 72.6

公債費以外の分析欄

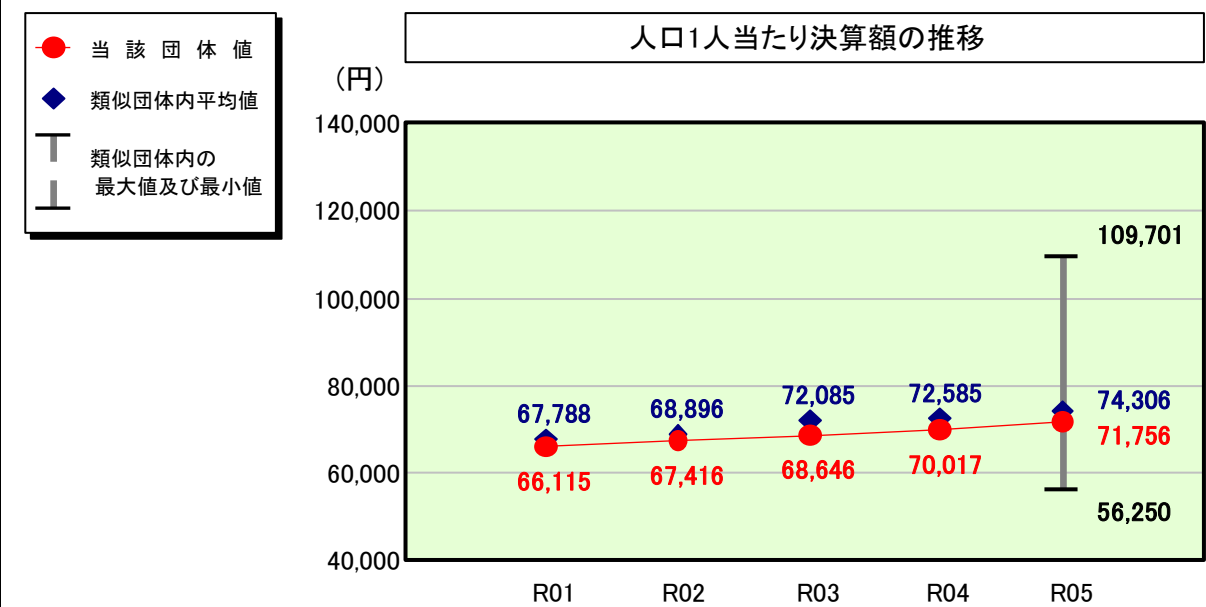
経常収支比率自体が低いことから、公債費を除いた経常収支比率も類似団体内平均を大幅に下回っている。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

愛媛県新居浜市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

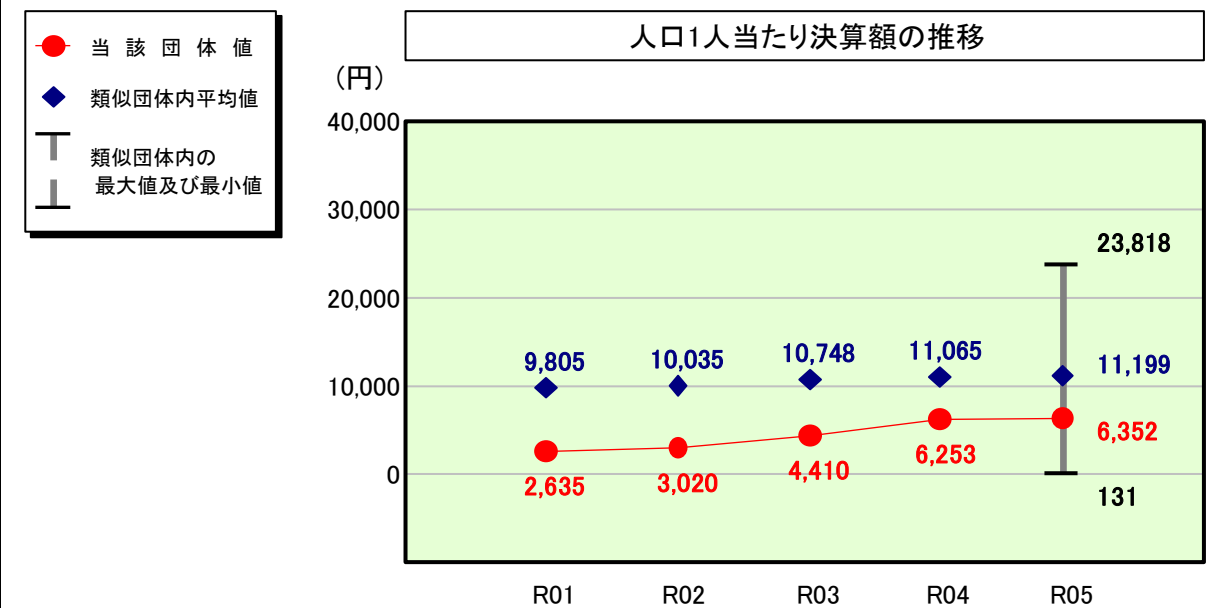
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	7,912,741	69,367	66,571	4.2
一部事務組合負担金(補助費等)	7,833	69	3,999	▲98.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	66,092	579	2,086	▲72.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	22	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	325,963	2,858	2,452	16.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	230,875	2,024	1,577	28.3
▲退職金	▲358,247	▲3,141	▲2,400	30.9
合計	8,185,257	71,756	74,306	▲3.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.95	6.91	0.04
ラスパイレス指数	98.9	99.2	▲0.3

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

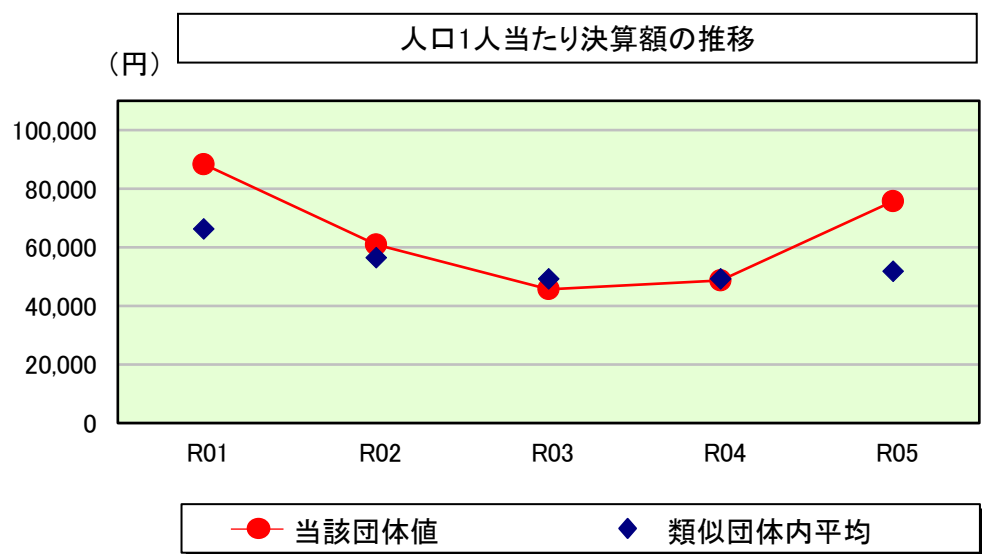
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,772,717	41,840	38,265	9.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,209,207	10,601	11,441	▲7.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,708	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,329	12	394	▲97.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲1,240,618	▲10,876	▲7,153	52.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲4,018,088	▲35,225	▲33,456	5.3
合計	724,547	6,352	11,199	▲43.3

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

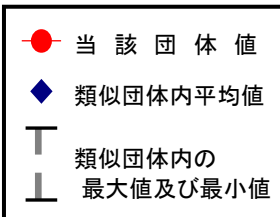
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R01	10,509,168	88,335	135.0	66,343	43.0	92.0
うち単独分	8,144,492	68,458	170.3	34,529	28.4	141.9
R02	7,179,108	60,919	▲31.0	56,416	▲15.0	▲16.0
うち単独分	3,978,441	33,760	▲50.7	32,623	▲5.5	▲45.2
R03	5,323,826	45,649	▲25.1	49,217	▲12.8	▲12.3
うち単独分	3,241,270	27,792	▲17.7	27,232	▲16.5	▲1.2
R04	5,617,128	48,712	6.7	49,211	0.0	6.7
うち単独分	2,756,994	23,909	▲14.0	28,367	4.2	▲18.2
R05	8,630,482	75,660	55.3	51,738	5.1	50.2
うち単独分	4,946,241	43,361	81.4	30,360	7.0	74.4
過去5年間平均	7,451,942	63,855	28.2	54,585	4.1	24.1
うち単独分	4,613,488	39,456	33.9	30,622	3.5	30.4

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

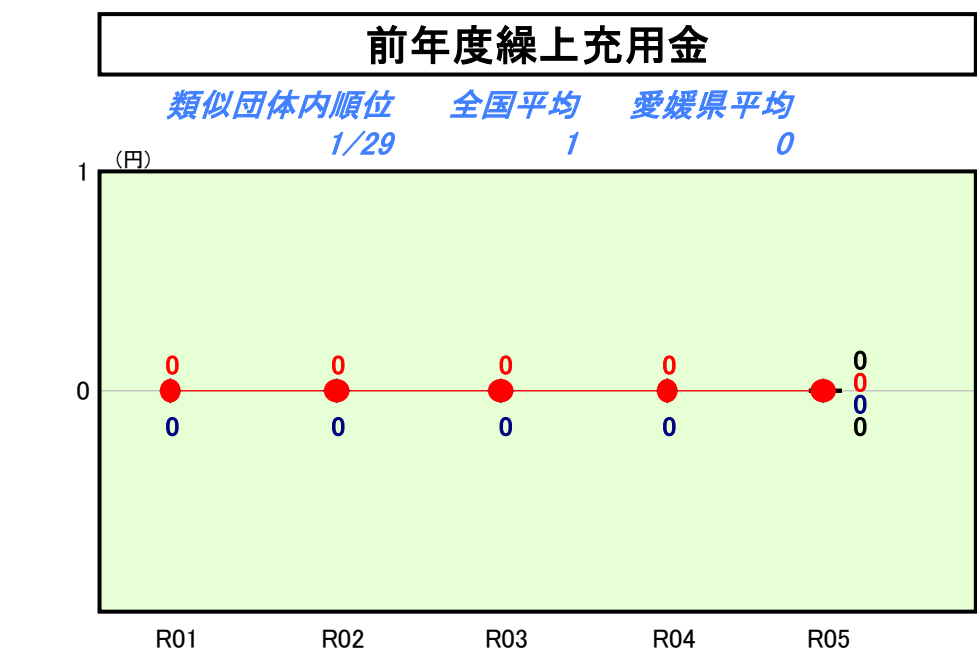
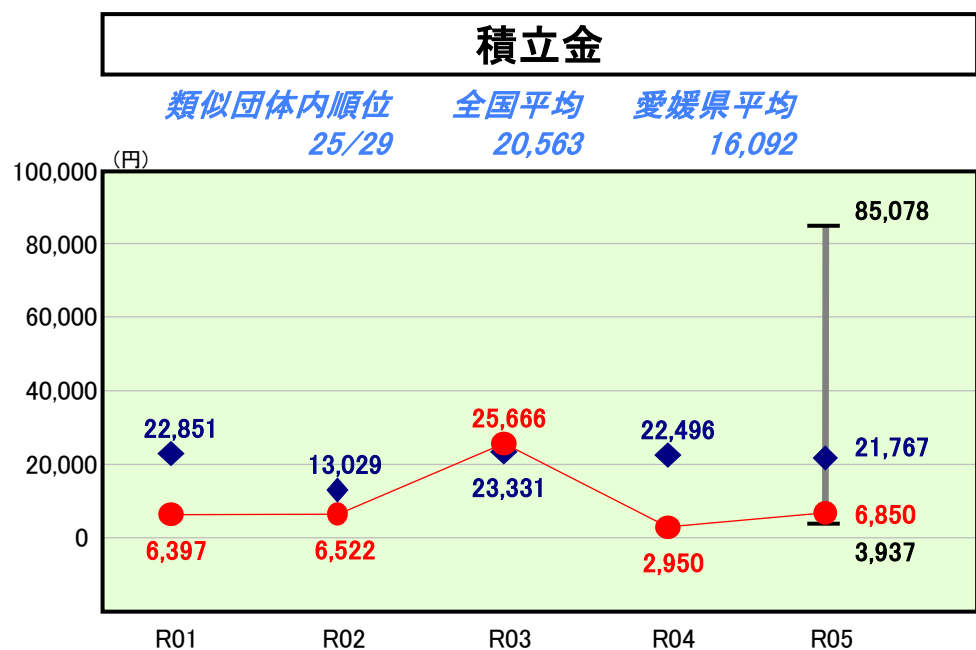
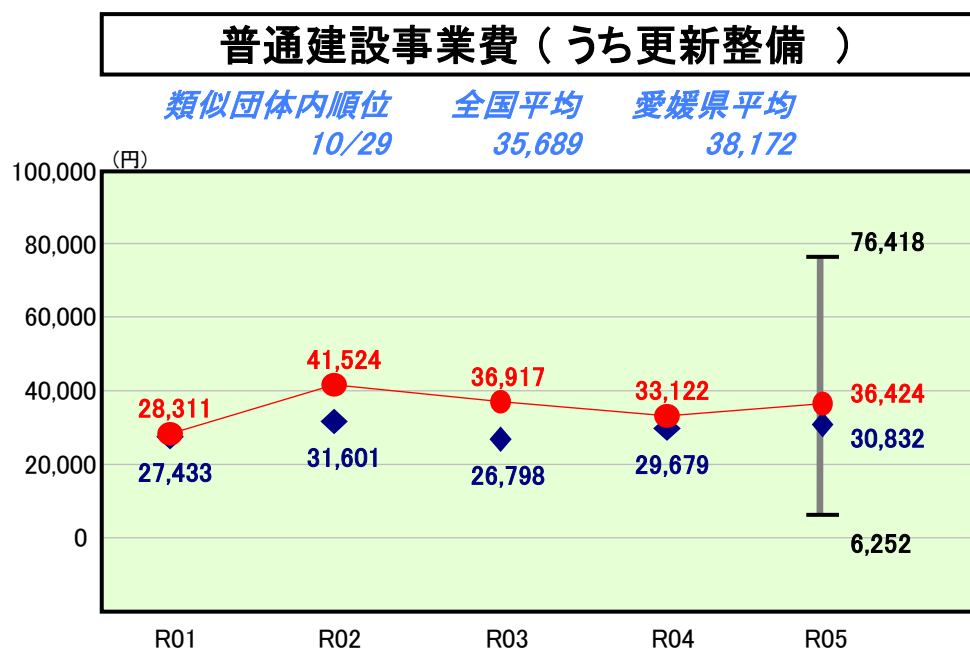
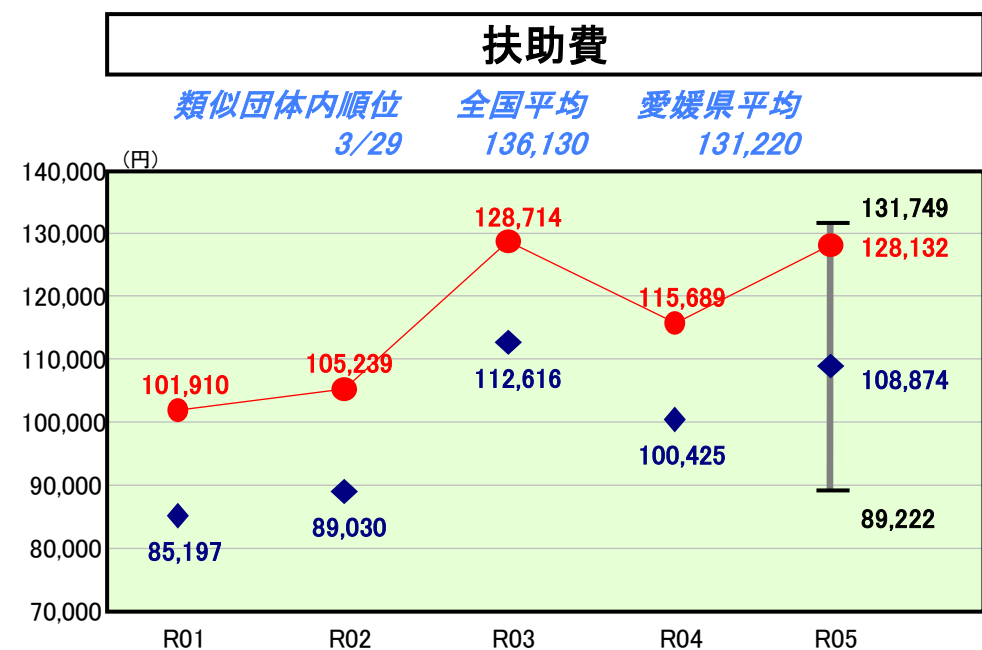
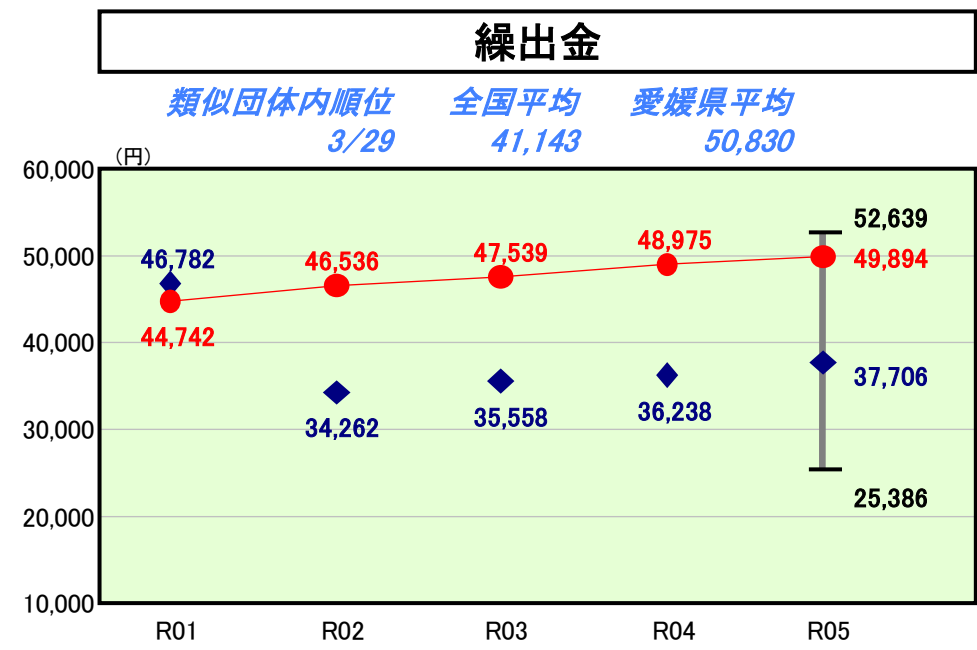
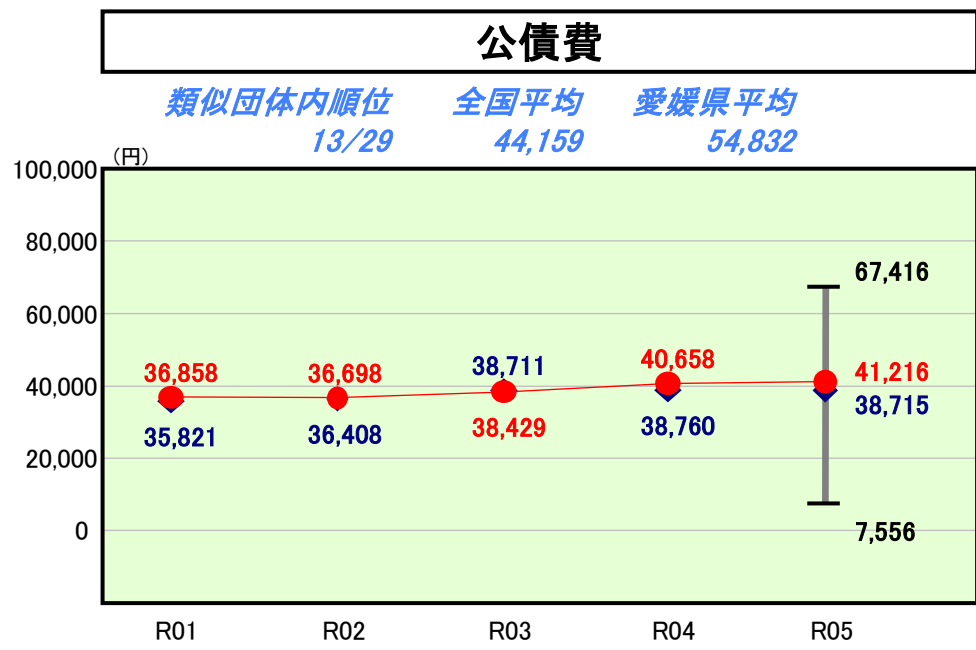
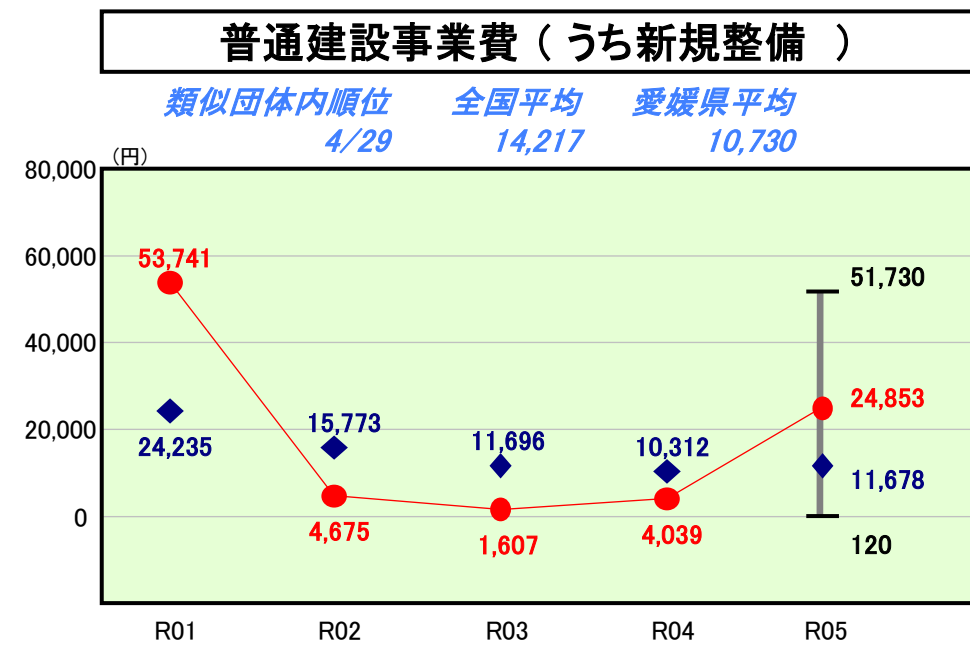
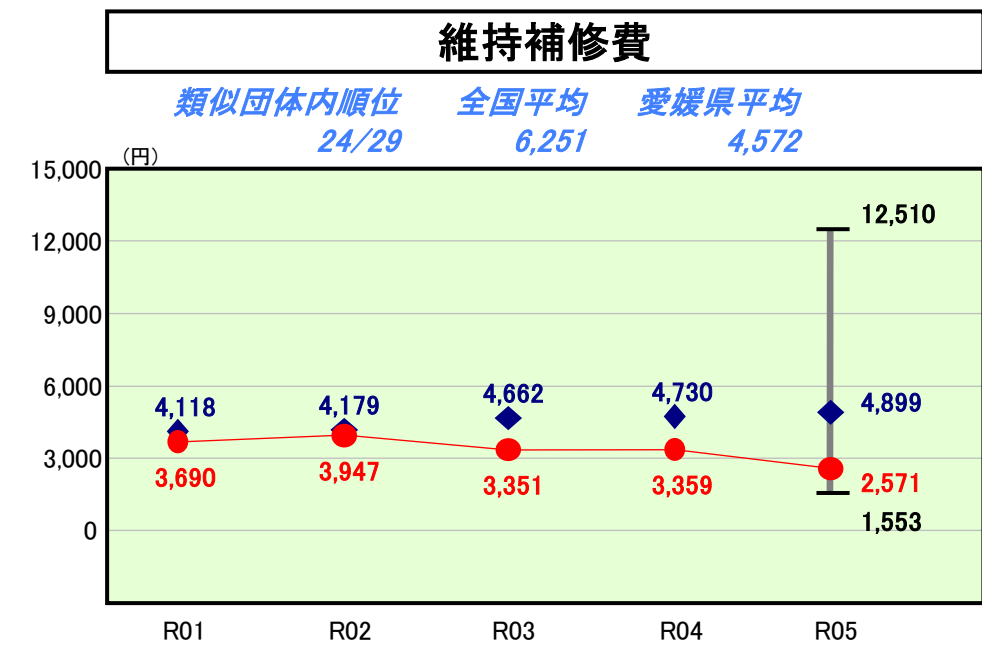
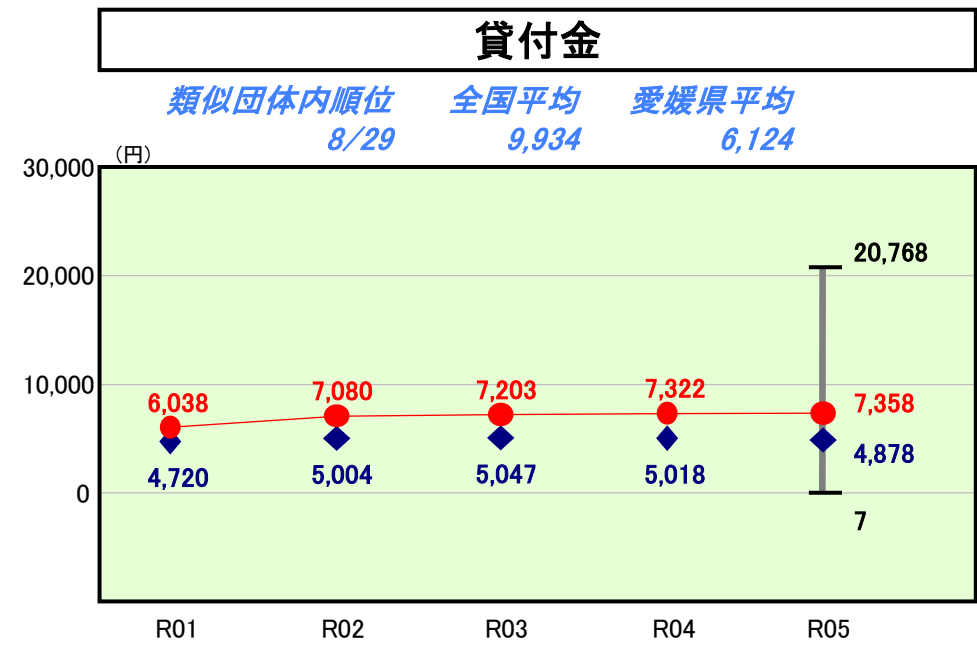
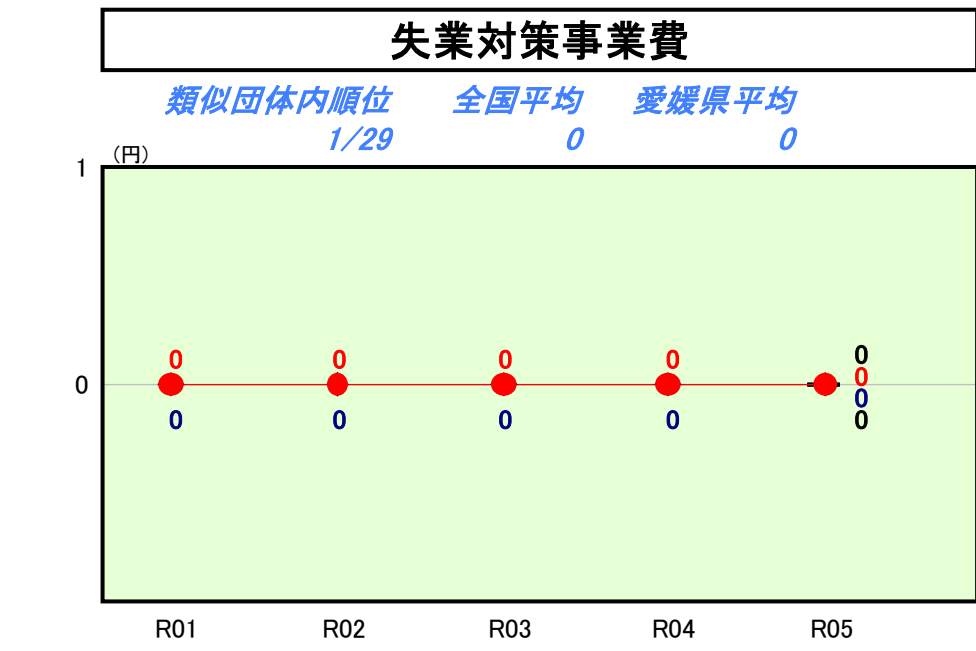
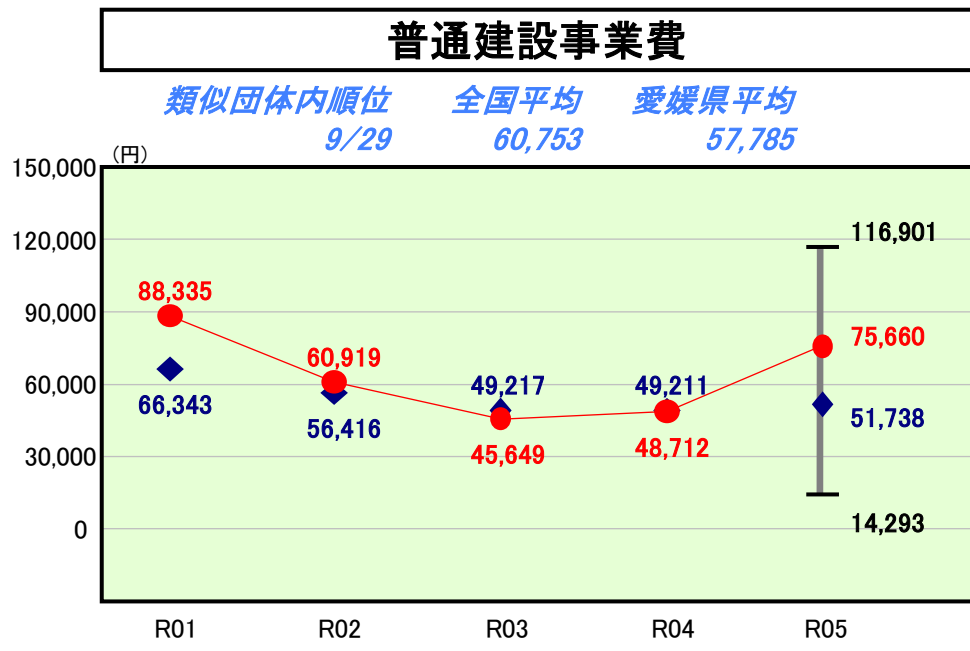
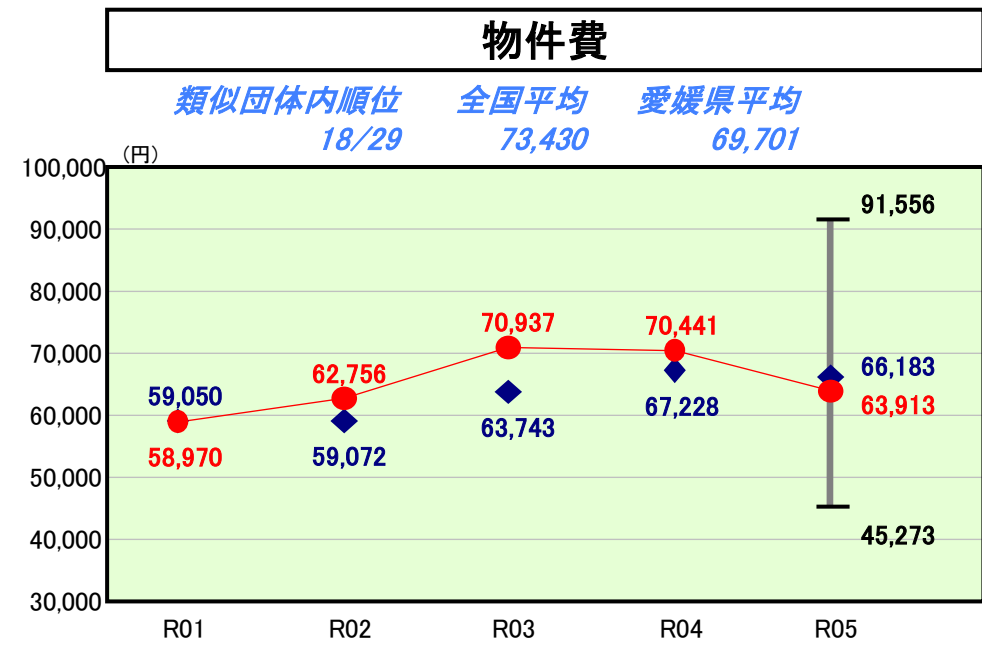
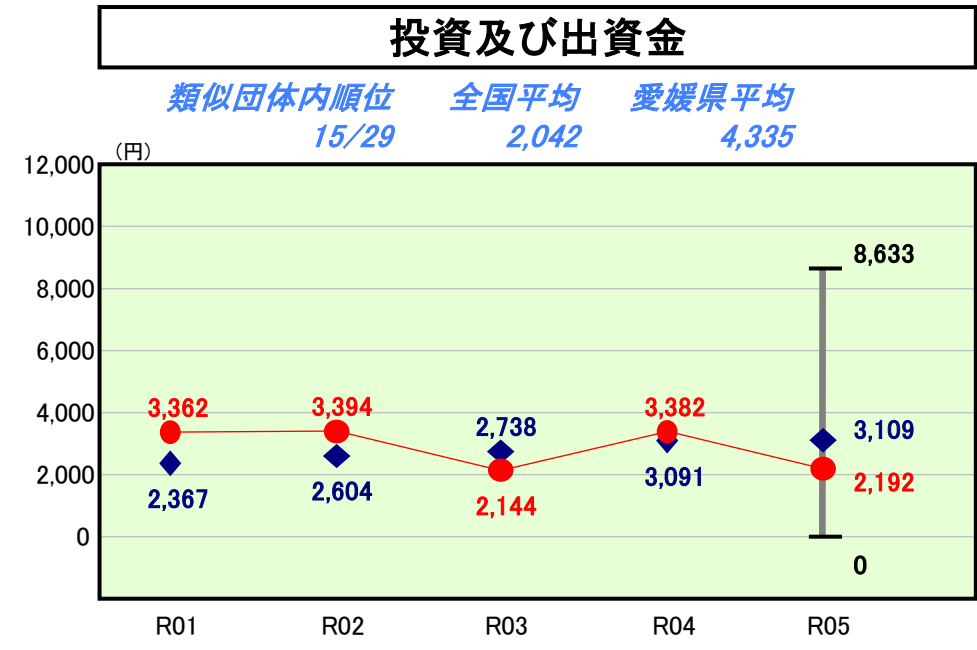
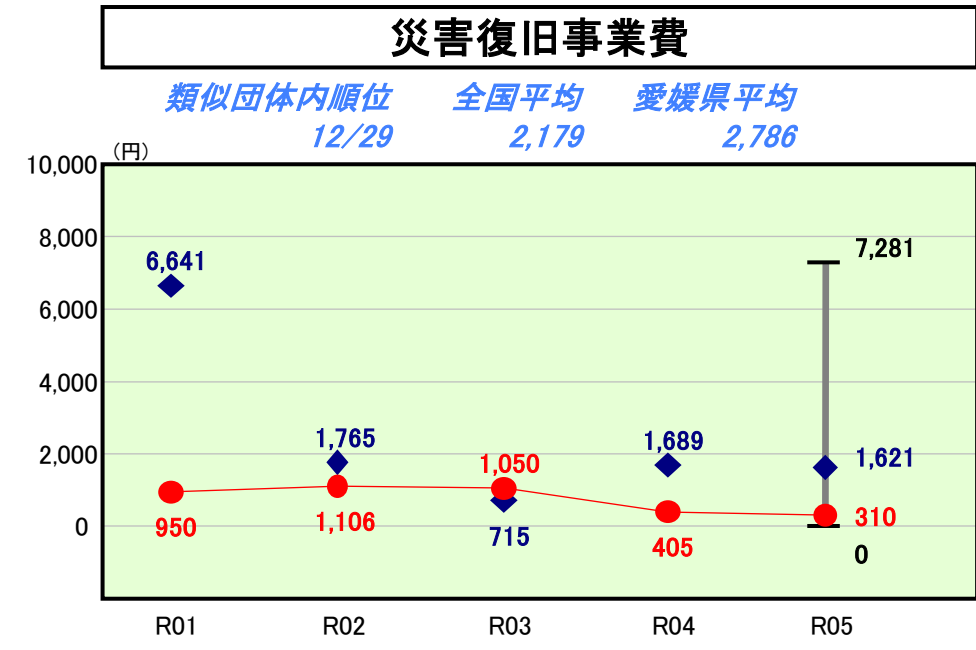
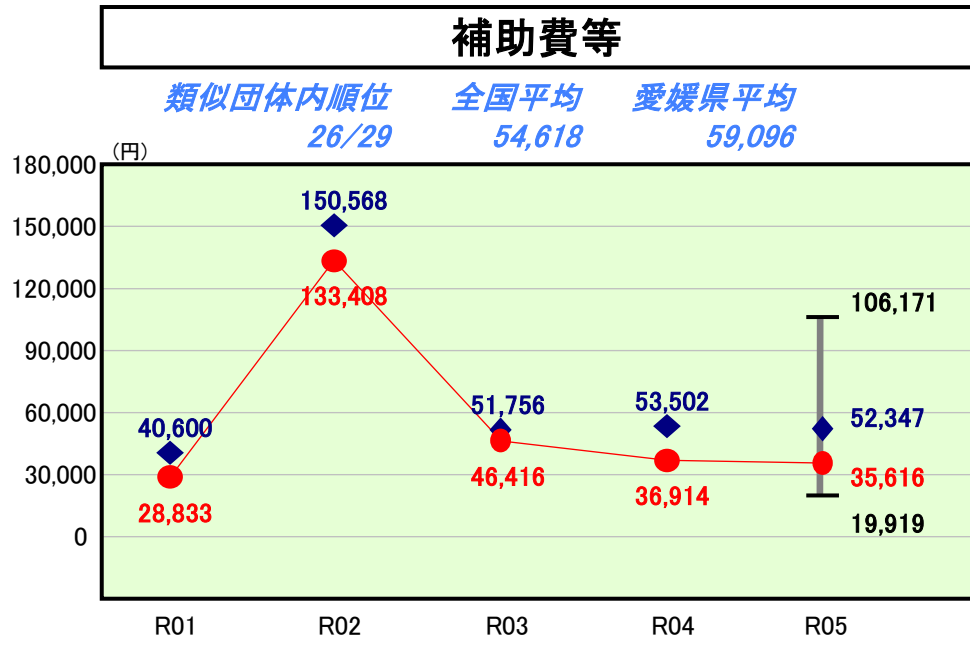
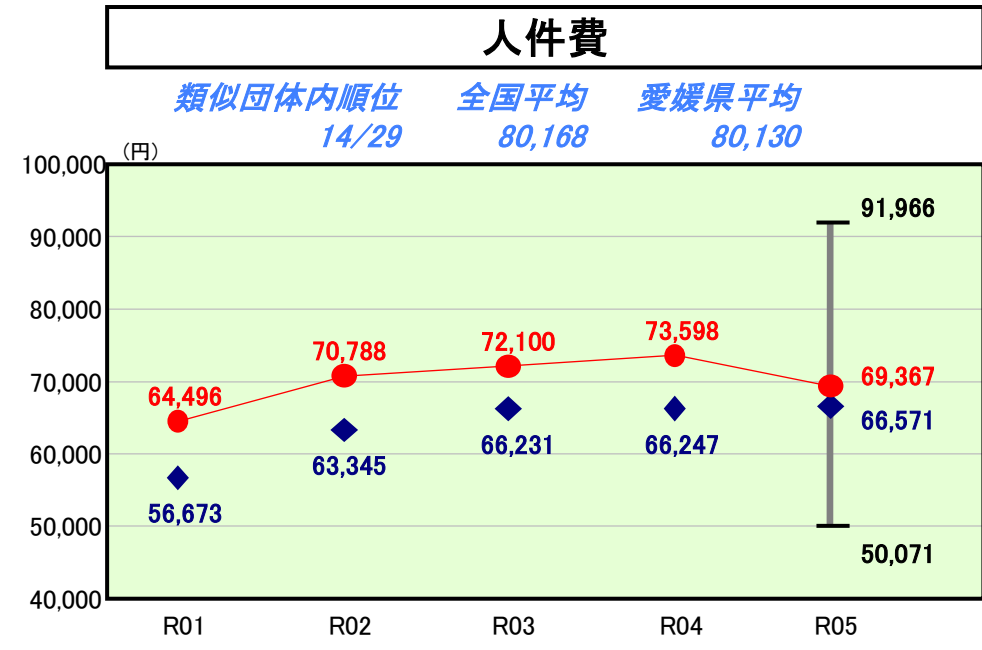
令和5年度

愛媛県新居浜市

人	114,070	人(R6.1.1現在)	実	赤	比	率	-	%
うち日本人	112,469	人(R6.1.1現在)	結	実	赤	字	比	率
面積	234.47	km ²	実	公	債	費	比	率
歳入総額	56,136,821	千円	将	来	負	担	比	率
歳出総額	55,104,771	千円	市	町	村	類	型	
実質収支	942,068	千円	(	年	度	毎	)	
標準財政規模	28,392,345	千円	R01	Ⅲ-2	R02	Ⅲ-2	Ⅲ-2	R03
地方債現在高	52,084,381	千円	R04	Ⅲ-2	R05	Ⅲ-2		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

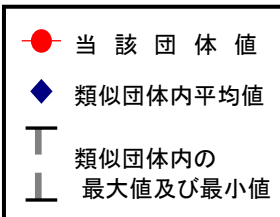
昨年度と比較して増加した費用の内、その差額が最も大きかったのは普通建設事業費で、26,948円の増加となった。これは、西部学校給食センターの新設や、体育施設の整備などの事業費が増加したことによる。普通建設事業費のうち新規整備も20,814円増加しているが、これも西部学校給食センター新設の影響による。次に差額が大きかったのは扶助費で、12,443円の増加となった。これは、住民税非課税世帯等への補助金等の増加によるものである。
次に、減少した費用の内、その差額が最も大きかったのは物件費で6,528円減少した。これは、新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料や令和4年度衛生センター閉鎖に伴う委託料の減少によるものである。2番目は人件費で、4,231円減少した。これは、適正な人員配置の見直しに伴う人員減や退職手当の減少等による。
類似団体平均との比較では、最も差が大きいのは普通建設事業で、23,922円類似団体平均より高い。これは上記で記載している大型事業の西部学校給食センターの建設による影響が大きいが、令和6年度で完成するため、令和7年度以降は老朽化した公共施設等の更新を行いながらも緊急度や住民ニーズによる事業の選択を行うことで抑制を図ってきたい。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

愛媛県新居浜市

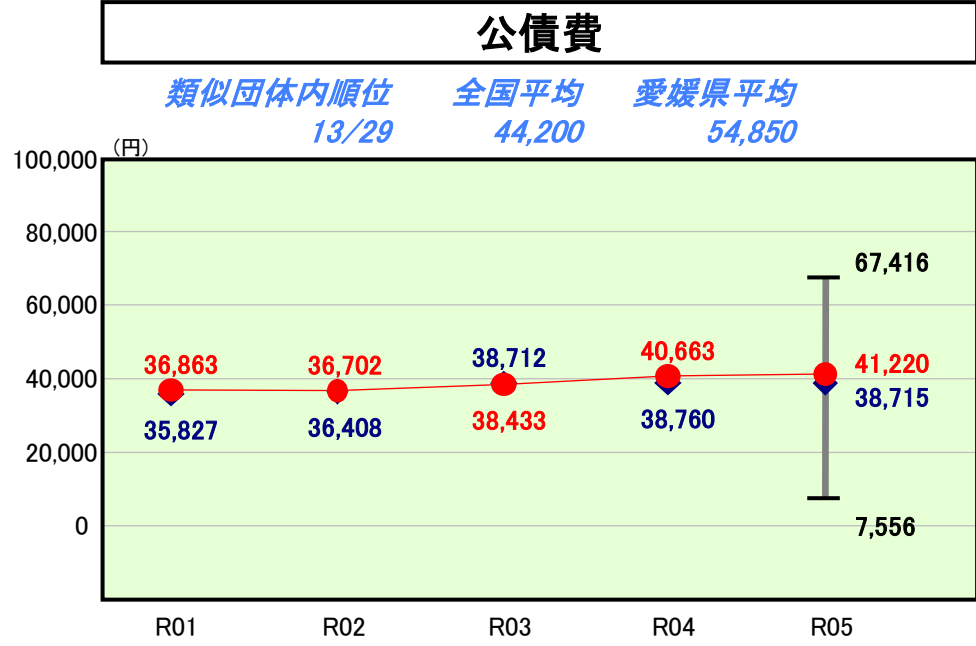
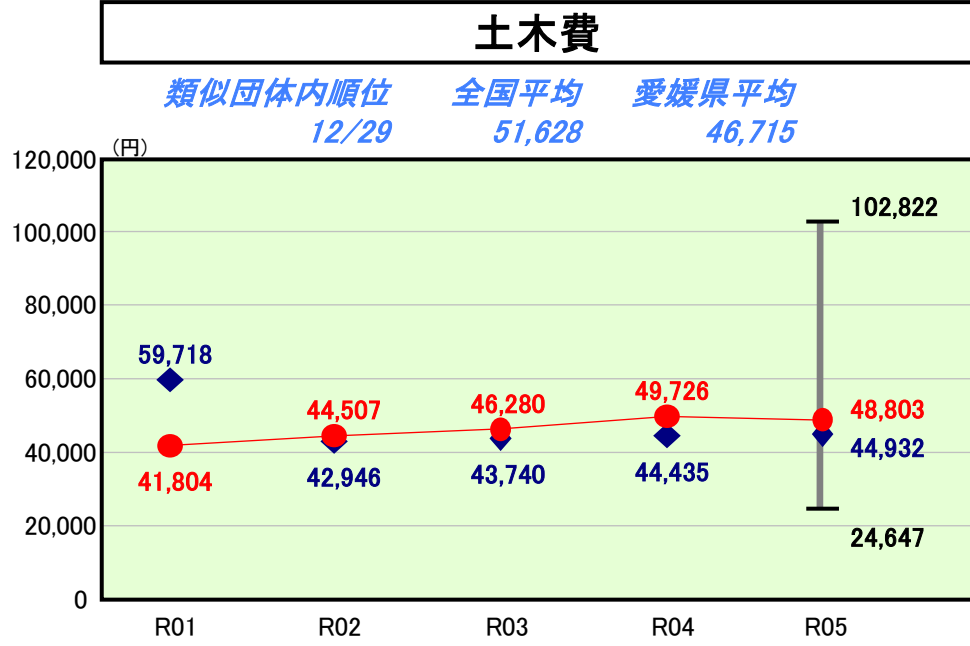
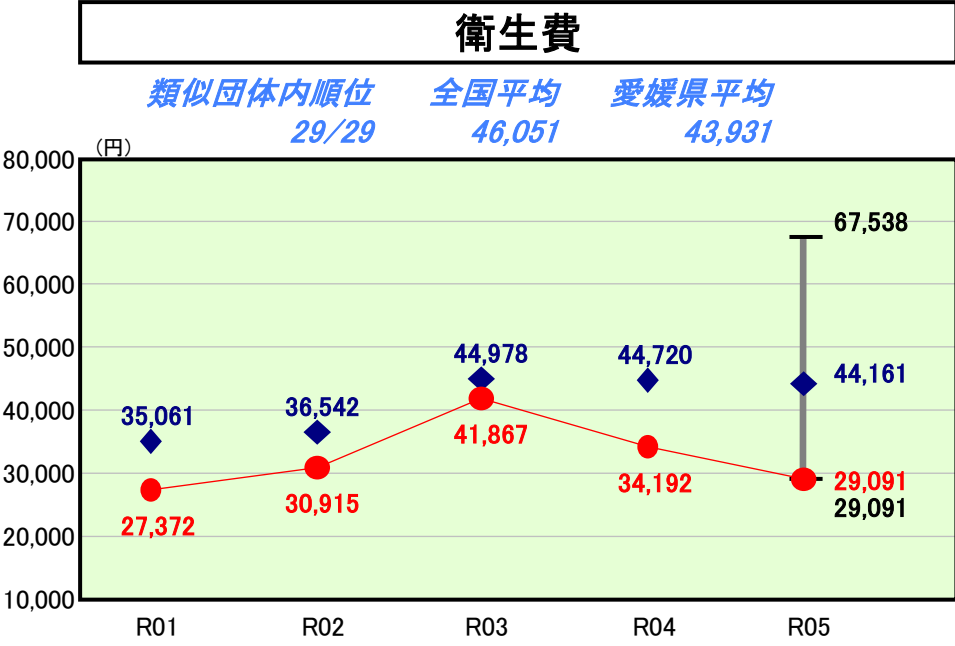
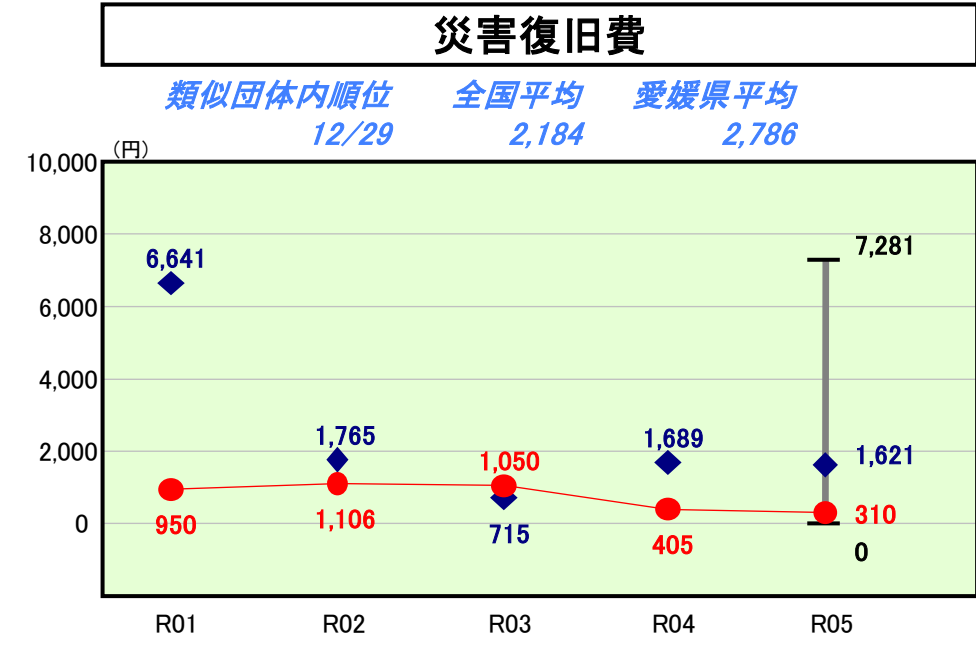
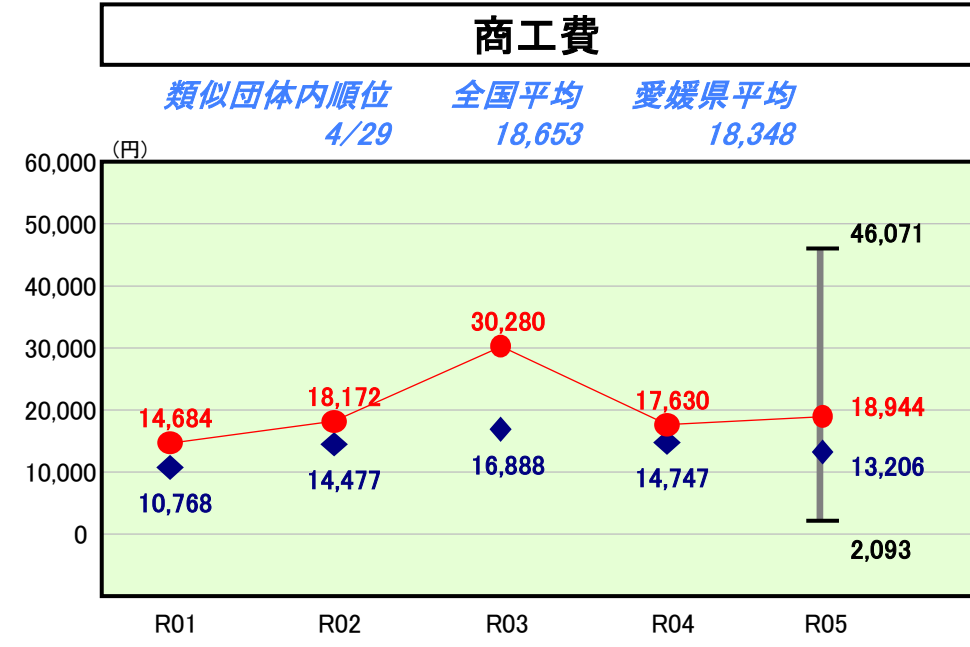
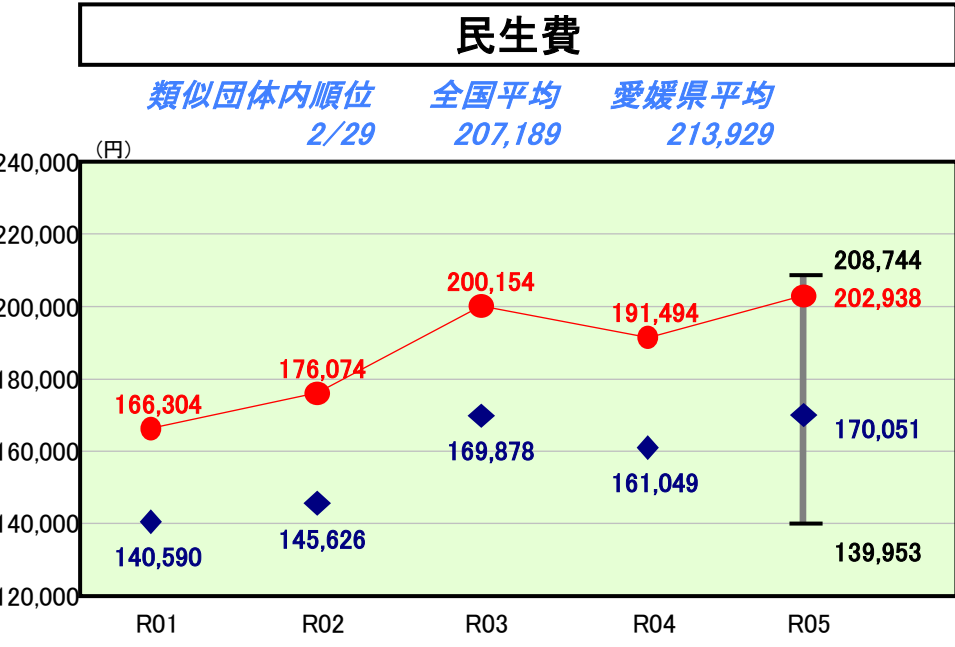
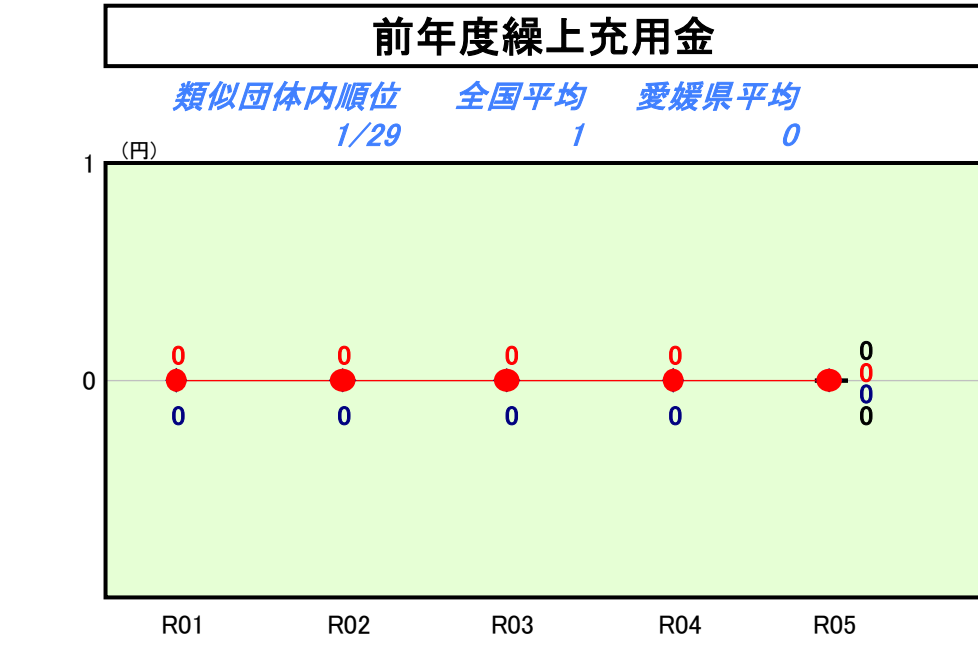
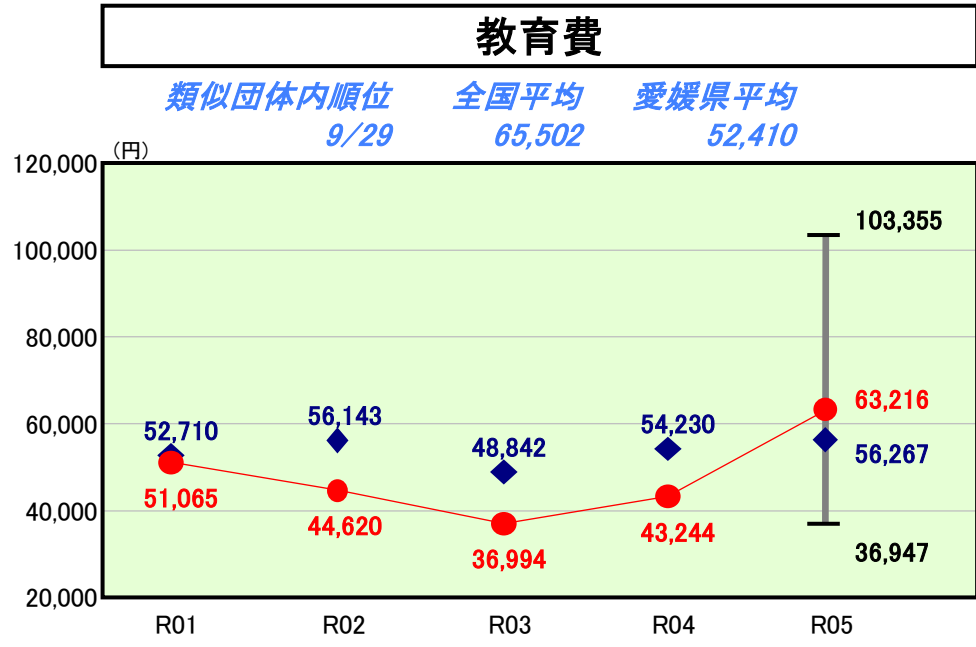
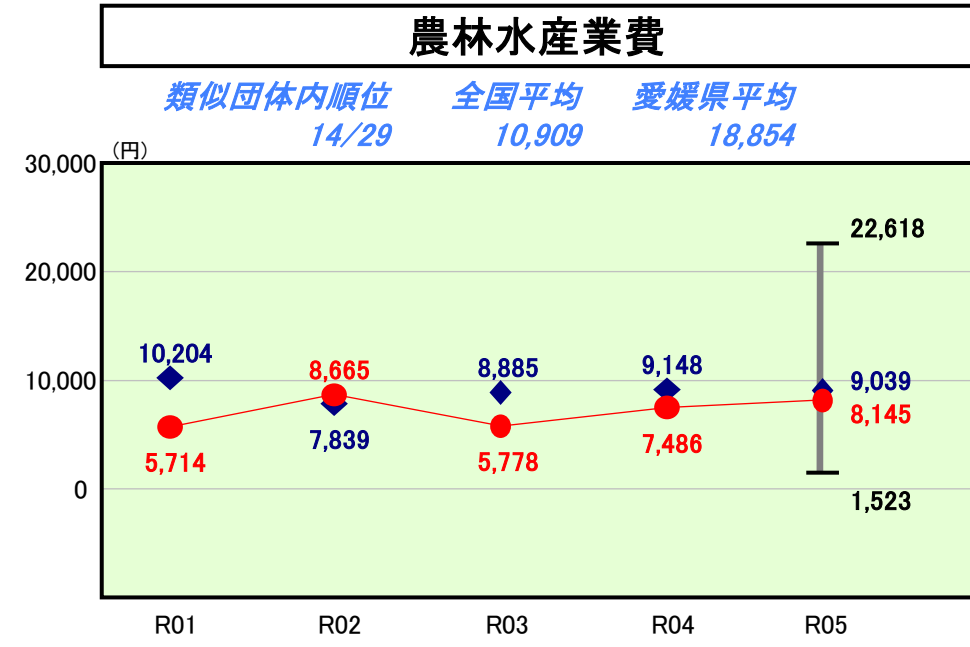
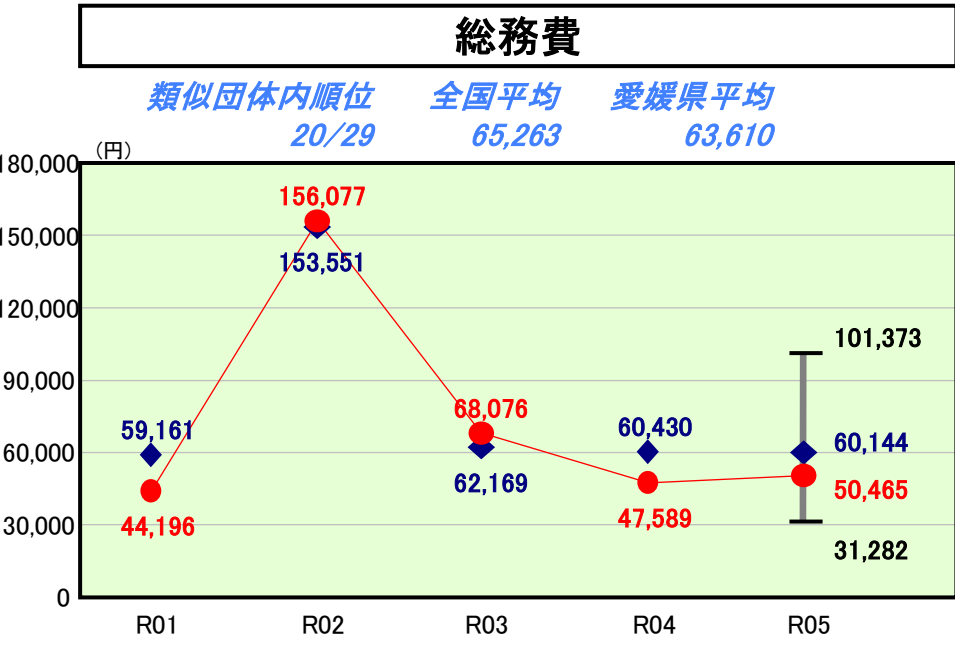
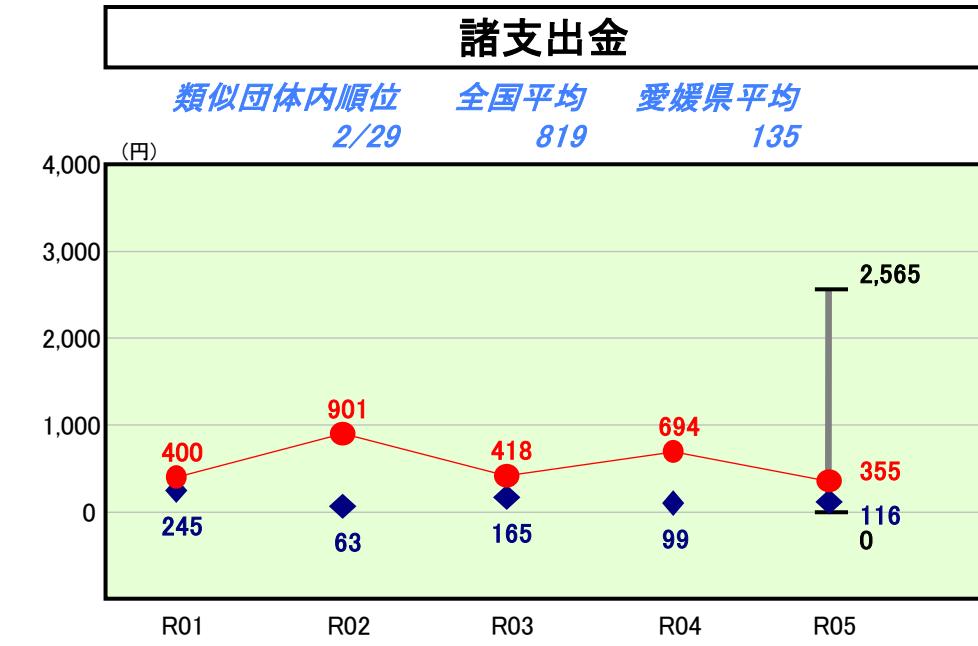
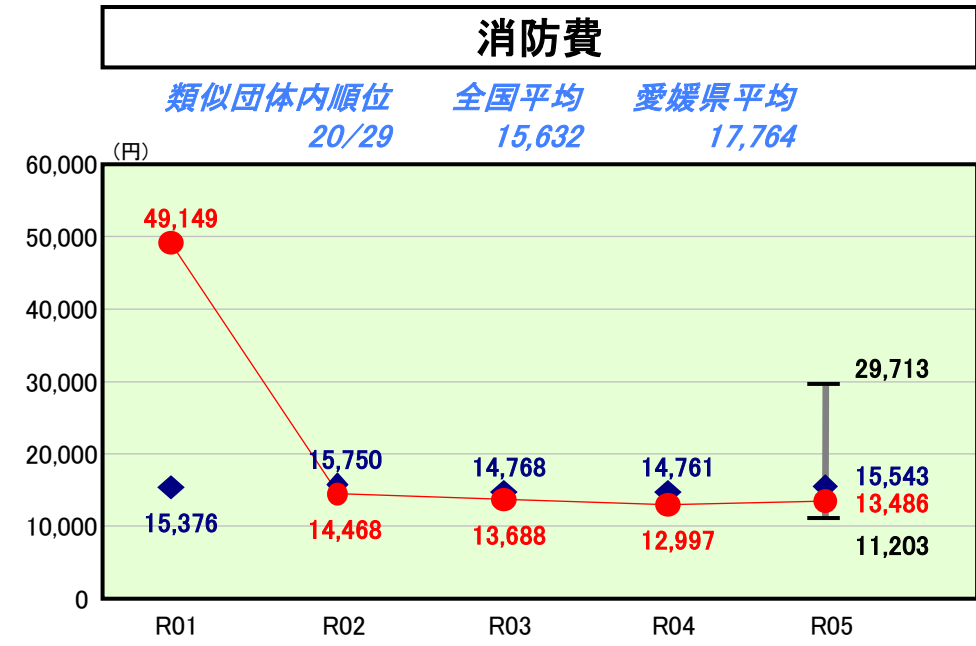
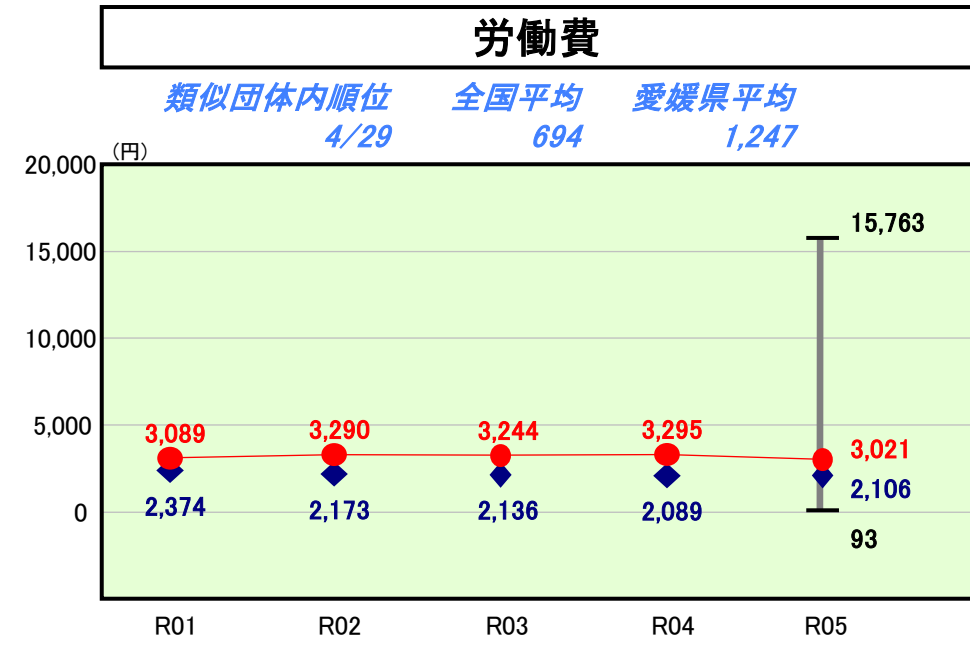
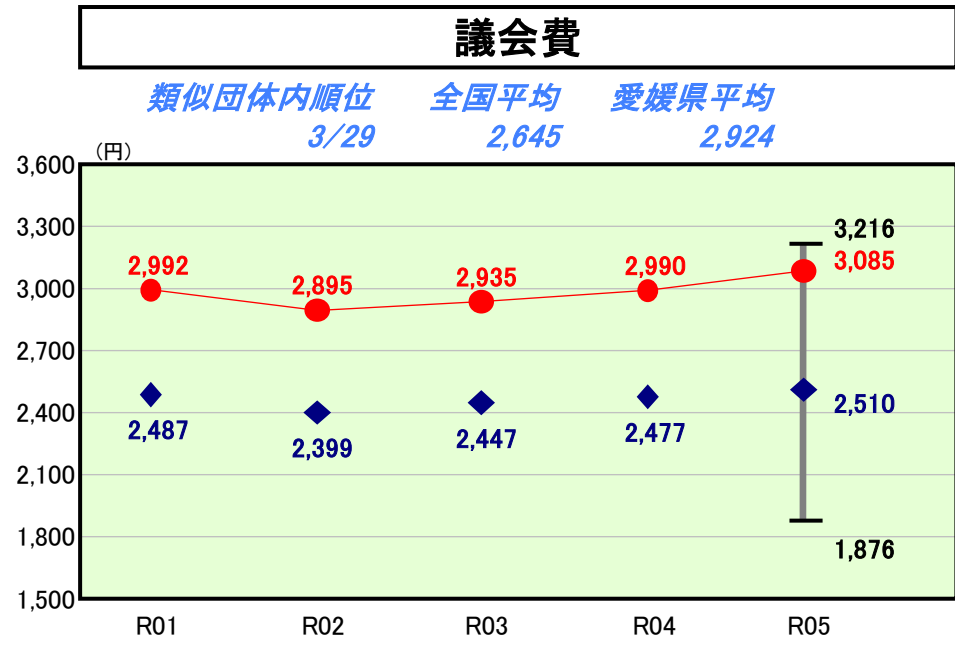
人	114,070	人(R6.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	112,469	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	234.47	km ²	実	質	公	債	費	比	率	2.7
歳入総額	56,136,821	千円	将	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	55,104,771	千円	市	町	村	類	型		R01	Ⅲ-2
実質収支	942,068	千円	(	年	度	毎	)		R04	Ⅲ-2
標準財政規模	28,392,345	千円							R02	Ⅲ-2
地方債現在高	52,084,381	千円							R05	Ⅲ-2



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

増加としての前年度との比較で最も差が大きいのは、教育費で、19,972円増加している。これは、西部学校給食センター建設に要した経費が約20.7億円増加したことによる。2番目に差が大きいのは民生費で、11,444円増加している。これは、住民税非課税世帯等への補助金等の増加によるものである。

減少としての前年度との比較で最も差が大きいのは、衛生費で、5,101円減少している。これは、新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料や令和4年度衛生センター閉鎖に伴う委託料の減少によるものである。

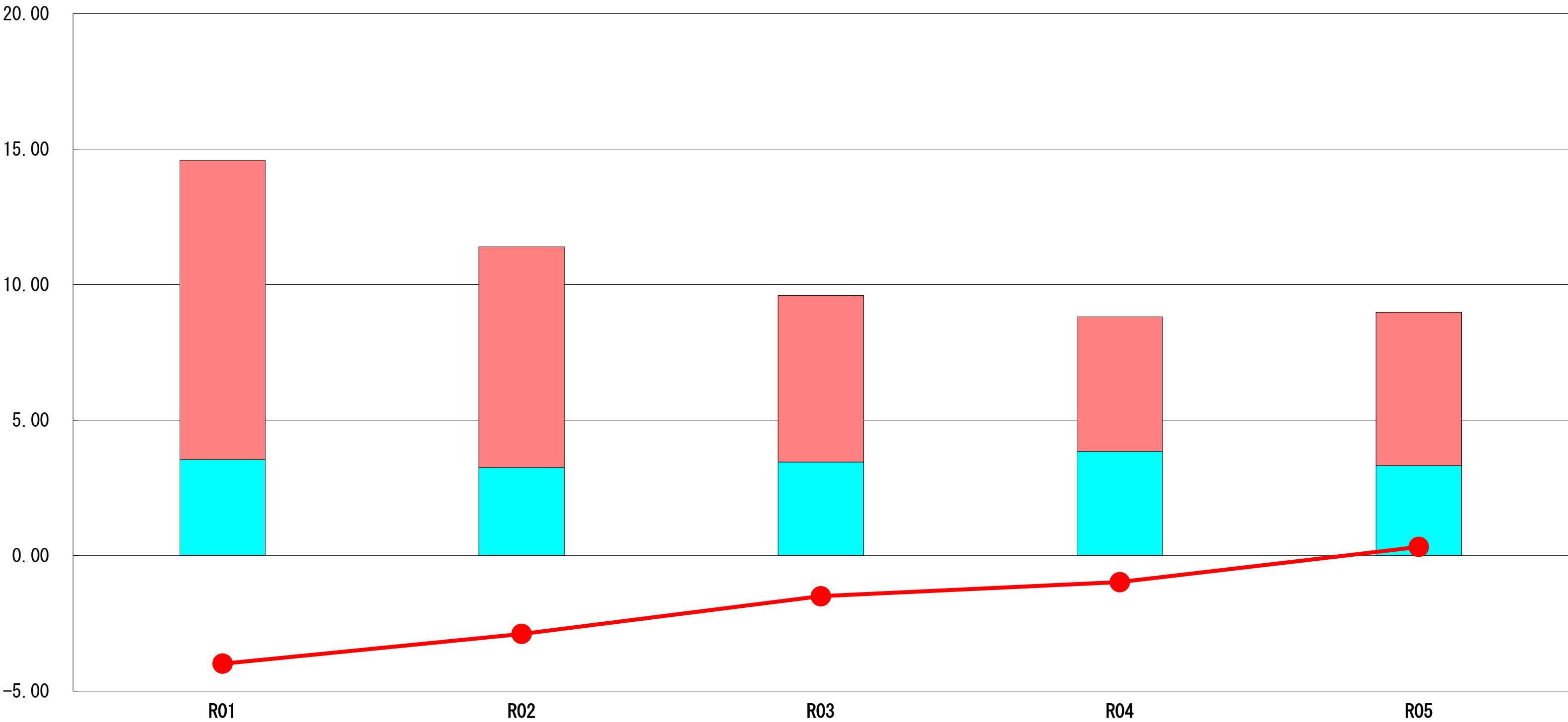
類似団体平均との比較では、最も差が大きいのは民生費で32,887円上回っている。これは、18歳までの医療費無償化等、子育て世帯の経済負担軽減を行い、子育てしやすい街づくりに取り組んできたことによるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

愛媛県新居浜市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		R01	R02	R03	R04	R05
区分	財政調整基金残高	11.04	8.15	6.15	4.97	5.66
	実質収支額	3.55	3.25	3.45	3.84	3.32
	実質単年度収支	▲ 3.99	▲ 2.89	▲ 1.50	▲ 0.98	0.32

分析欄

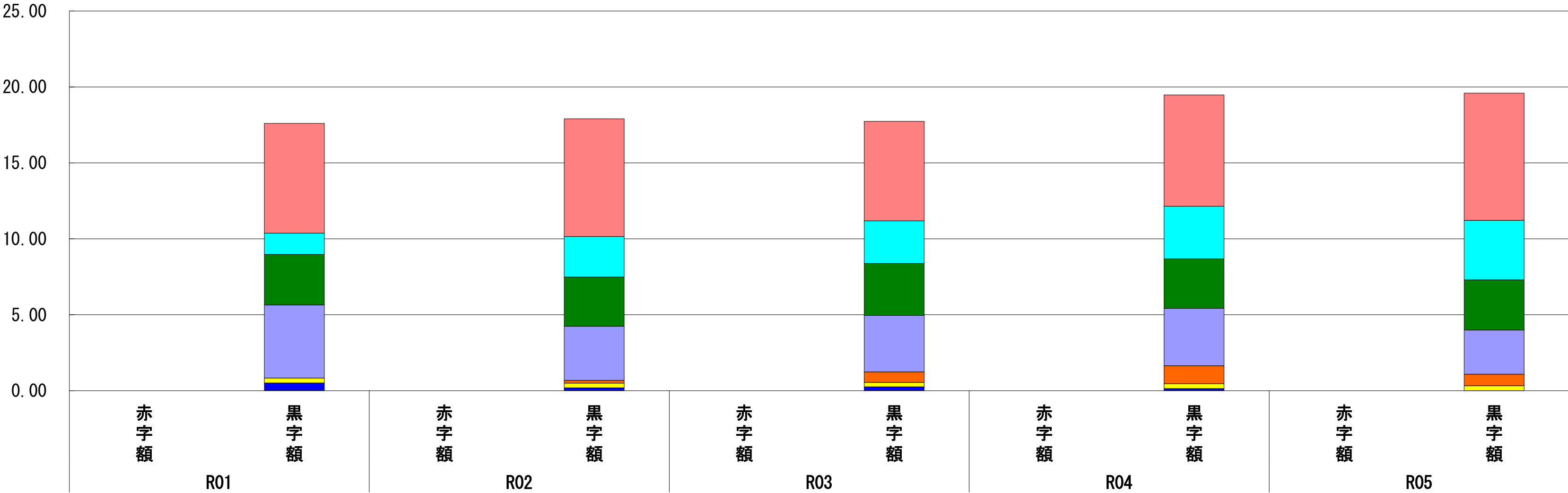
実質収支は、財政調整基金の取崩により黒字になっている。また、実質単年度収支比率は前年度と比較して1.3ポイント上昇し、令和5年度黒字となった。これは適正な人員配置の見直しに伴う人員減等による人件費の削減など経費削減に努めたことによるものである。財政調整基金残高については、平成30年度以降減少傾向にある。今年4年度から令和5年度にかけて増加したものの、以前に比べ低い水準であることから、一定以上の水準を維持できるよう、歳入準拠の予算編成や事業の見直し等を通じて健全財政の維持を図

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

愛媛県新居浜市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	R01	R02	R03	R04	R05
水道事業会計		7.22	7.74	6.56	7.32	8.38
公共下水道事業会計		1.41	2.67	2.79	3.47	3.92
一般会計		3.32	3.24	3.44	3.26	3.31
工業用水道事業会計		4.82	3.56	3.71	3.77	2.91
介護保険事業特別会計		0.00	0.19	0.69	1.18	0.76
後期高齢者医療事業特別会計		0.31	0.31	0.29	0.33	0.32
平尾墓園事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
国民健康保険事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.52	0.19	0.26	0.14	0.00

分析欄

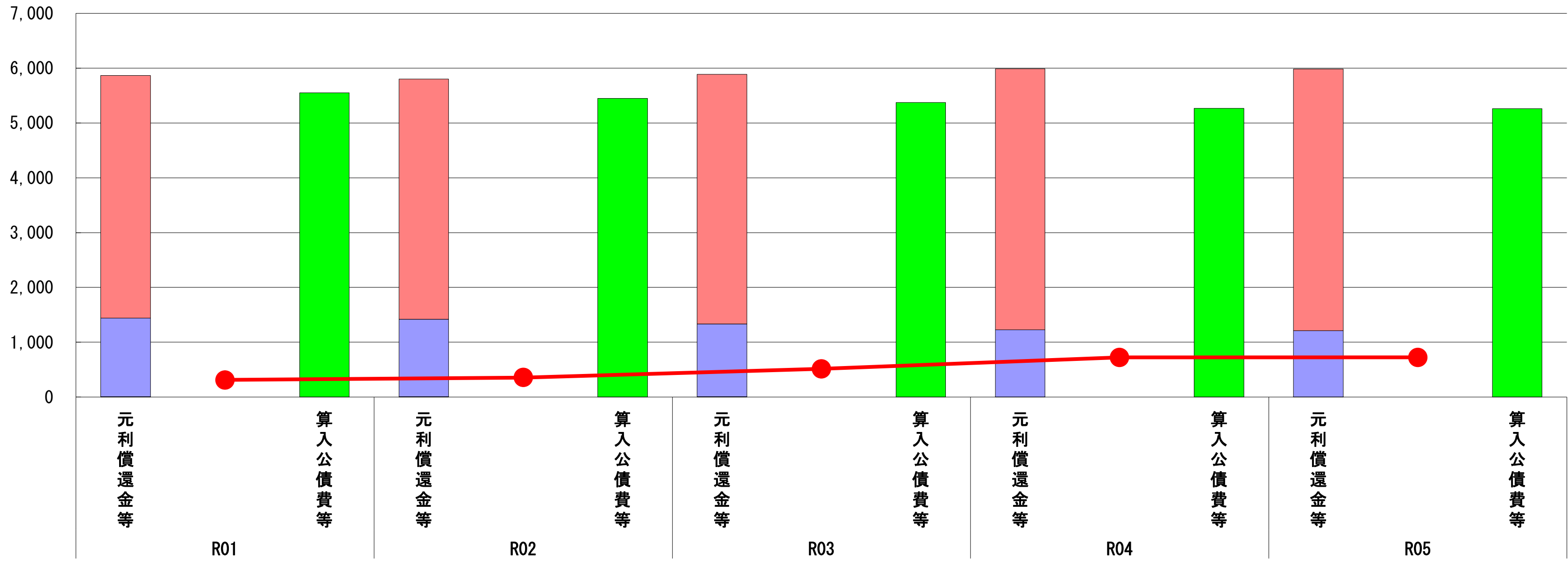
- 現状
全ての会計において赤字は生じていない。
- 今後の対応
各会計において適正な財政運営、企業経営を行っていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

愛媛県新居浜市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		4,422	4,383	4,553	4,760	4,773
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,435	1,415	1,329	1,226	1,209
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		7	5	4	2	1
算入公債費等 (B)	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
	算入公債費等		5,551	5,447	5,371	5,267	5,259
(A) - (B)		実質公債費比率の分子	313	356	515	721	724

分析欄

元利償還金が令和元年度から令和3年度にかけてはほぼ横ばいであるが、令和4年度には、小中学校空調整備事業の元金償還開始等により増加していることや、平成22・23年度同意の区画整理事業の償還完了等により、算入公債費等（B）が減少していることが分子の増加につながり、実質公債費比率は上昇している。令和5年度に関しては令和4年度とほぼ横ばいである。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等（注）	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		-	-	-	-	-

（注）減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

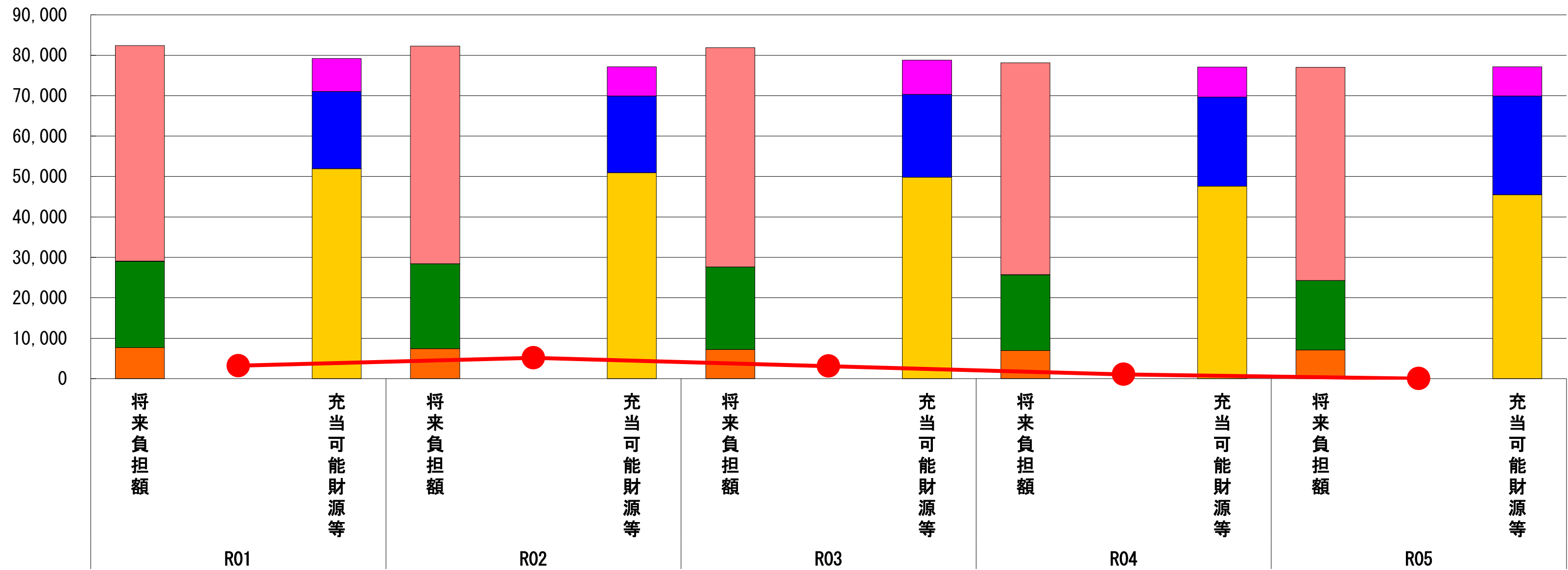
満期一括償還地方債の償還はない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

愛媛県新居浜市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		53, 359	53, 888	54, 269	52, 427	52, 702
	債務負担行為に基づく支出予定額		15	10	6	4	3
	公営企業債等繰入見込額		21, 399	21, 020	20, 446	18, 769	17, 201
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		7, 646	7, 382	7, 187	6, 931	7, 102
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		8, 200	7, 209	8, 483	7, 410	7, 231
	充当可能特定歳入		19, 094	18, 982	20, 533	22, 029	24, 454
	基準財政需要額算入見込額		51, 925	50, 968	49, 810	47, 633	45, 497
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3, 201	5, 141	3, 082	1, 059	▲ 176

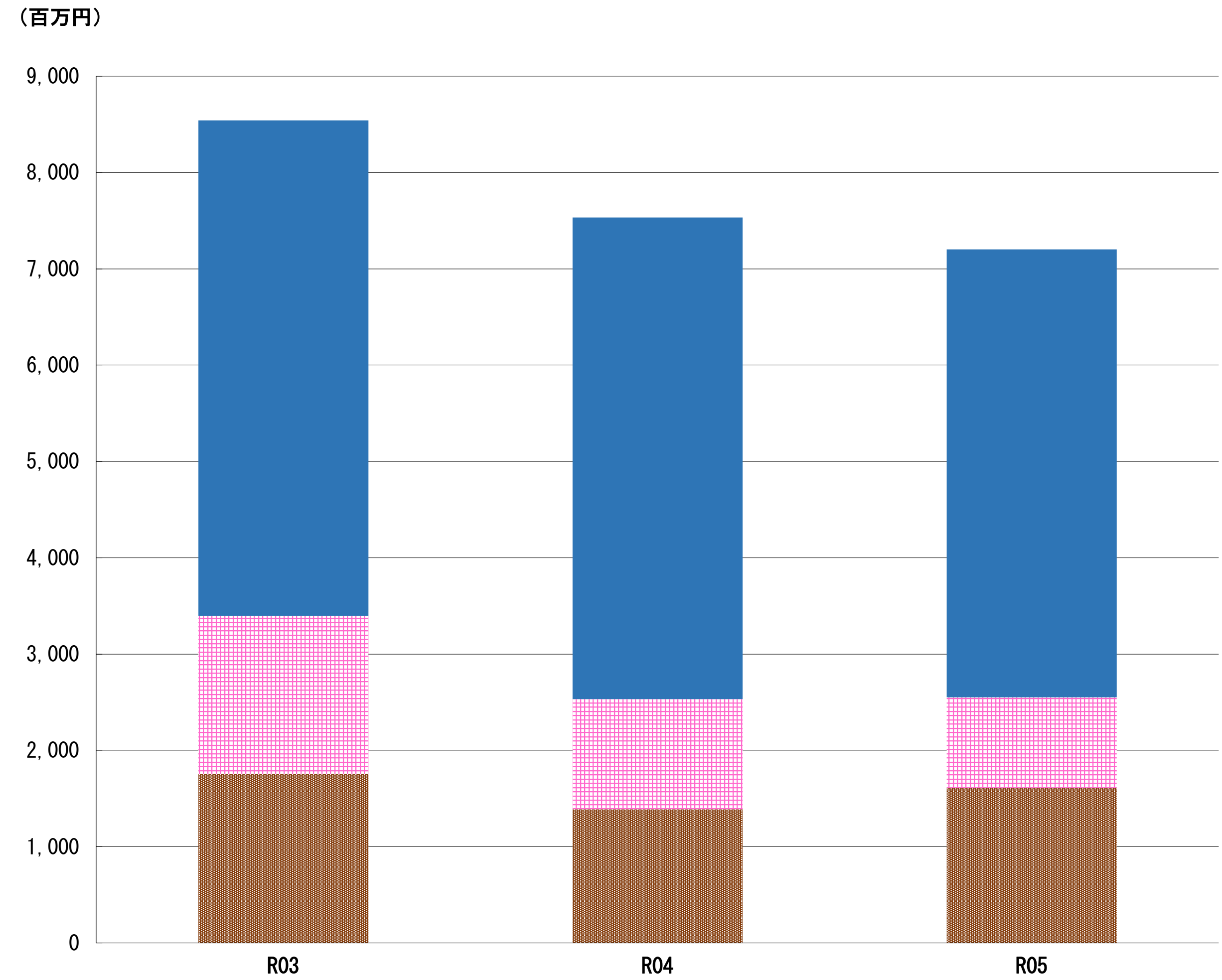
分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、令和元年度から増加していたが、令和３年度から４年度にかけては、令和４年度起債借入額の抑制や、臨時財政対策債発行可能額の減少等により、３．４％の減となった。令和５年度には、西部学校給食センター建設に伴う起債借入により、地方債の現在高は増加した。

令和5年度においては、都市計画税収等充当可能特定歳入の増加により、充当可能特定歳入が増加したこともあり、将来負担比率の分子が減少している。

充当可能税源等のうち基準財政需要額算入見込額については令和元年度以降減少している。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
 財政調整基金		1,754	1,387	1,608
 減債基金		1,643	1,144	942
	其他特定目的基金	5,143	5,003	4,652
	合併振興基金	1,348	1,277	1,232
	公共施設整備基金	1,084	1,159	992
	文化振興基金	823	808	791
	体育施設建設基金	698	667	667
	別子山振興基金	259	237	215
基金残高合計		8,540	7,534	7,202

令和5年度	愛媛県新居浜市
-------	---------

基金全体 (増減理由) 基金残高は332百万円の減少となっている。 具体的には減債基金が202百万円、特定目的基金が351百万円の減少となっており、中でも公共施設整備基金は167百万円の減少となっている。 (今後の方針) 各特定目的基金については、引き続き、対象事業や必要性の見直しを行い、目的に合致した事業への適切な活用を図る。また、財政調整基金については令和5年度に少し残高が増加したものの、引き続き低い水準であることから、特定財源の確保や、歳入準拠の予算編成等を通じて、財政調整基金に依存しない財政運営を行う。
財政調整基金 (増減理由) 財政調整基金は221百万円増加している。 増加した理由としては、歳入面では市税の増加等による一般財源の増加、歳出面では令和4年度衛生センター閉鎖に伴う委託料の減少による物件費の減少や適正な人員配置の見直しに伴う人員減や退職手当の減少等による人件費の減少等による。 (今後の方針) 近年、現在高は減少傾向にあり、令和5年度は増加したものの、今後、災害が発生した際などの財政需要に備え、一定の基金残高を確保する必要があるため、特定財源の確保や、歳入準拠の予算編成等を通じて、財政調整基金に依存しない財政運営を行う。
減債基金 (増減理由) 令和4年度から元金償還が開始している小中学校空調整備事業等大型事業の元金償還による公債費の増に対応するため、減債基金の取り崩しを行ったことによる。 (今後の方針) 令和6年に完成する西部学校給食センター建設事業等、今後元金の償還が始まる大型事業を見据え、適切に積立と取り崩しを行う。
其他特定目的基金 (基金の使途) 合併振興基金は合併後の新市の一体感を醸成することを目的としており、令和5年度は市史の刊行に向けた資料収集や、新居浜市まち・わざ・しごとフェス開催等に活用した。 公共施設整備基金は公共施設の適切な機能の維持管理に必要な財源を確保し、安全で快適な公共施設の管理及び財政の健全な運営に資することを目的としており、例年、公共施設の長寿命化等の改修に活用している。 文化振興基金は市民文化施設の建設及び芸術文化資料の収集を目的としており、令和5年度は新市民文化センター建設のための基本計画策定にかかる経費に活用した。 体育施設建設基金は市民体育施設の建設を目的としており、令和5年度は基金を活用した事業はなかった。 別子山振興基金は別子山地区の地域振興を図ることを目的としており、別子山給水施設管理費や地域バスの運行などに活用している。 (増減理由) 令和5年度については、体育施設の整備や小中学校のトイレや照明のLED化など公共施設の整備にかかる費用が多く、公共施設整備基金を大きく取り崩すこととなり残高が減少することとなった。各種基金についても、目的ごとに事業の財源として取り崩しを行っているため、全体の基金残高が減少している。 (今後の方針) 毎年決まった事業に財源として活用している基金については、残高が減少傾向にある。今後も基金を活用して実施すべき事業かどうかについて引き続き精査を行うとともに、特定財源の確保などを通じて、残高の維持を図る。